

教育なよろ

平成 2 5 年 度



北国博物館夏休み企画「北の鉄路遺産めぐり」

平成 2 4 年 8 月 7 日 北国博物館野外展示「キマロキ」前

名 寄 市 教 育 委 員 会



市章

名寄市の英頭文字「N」をモチーフに、合併する風連町と名寄市の住民が、溢れる自然の恵みに天を仰ぎ感謝し、北の都をみんなで力を合わせ創り上げ発展していく様子を表現しています
(平成 18 年 3 月 27 日制定)

名寄市民憲章

私たちは、秀峰ピヤシリを望み、天塩川の恵みに育まれた美しい緑と樹氷きらめくまち、名寄の市民です。厳しい風雪に耐え抜いた開拓者精神を受けつぎ、郷土を愛する心を大切にしながら明るく、生き生きとした名寄市の発展に努めます。

じぶん ほこ せきにん
自分のまちに誇りと責任をもち、
みな 話 しあひ ながら、
す
住みよいまちをつくります。

けんこう たいせつ
からだところの健康を大切にし、
たが あたた おも
互いに 温かい思いやりをもって、
あんしん く
安心して暮らせるまちをつくります。

ゆた しぜん まも そだ
豊かな自然を守り育て、
しぜん ちょうわ く かんきょう
自然と調和した暮らしの環境をととのえ、
かいてき
快適でうるおいのあるまちをつくります。

たの はたら そうぞうりよく はつき
楽しく働き、創造力を発揮し、
ゆた く ほこ
豊かな暮らしを誇れる
かつりよく み
活力に満ちたまちをつくります。

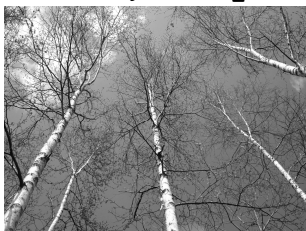
ちせい かんせい
知性と感性をみがき、
ゆた ひと かお たか ふんか はぐく
こころ豊かな人と薫り高い文化を育み、
きぼう かがや
希望に輝くまちをつくります。

(平成 19 年 2 月 26 日制定)

【名寄市のシンボル】(平成 18 年 7 月 25 日制定)

市の木

「シラカバ」



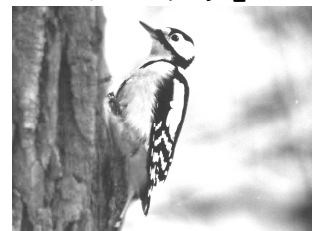
市の花

「オオバナノエンレイソウ」



市の鳥

「アカゲラ」



名寄市の概況

1 位置・地勢

名寄市は、北・北海道の長流天塩川が形成する名寄盆地のほぼ中央に位置し、東は雄武町と下川町、西は幌加内町、南は士別市、北は美深町と接しています。その市域は、東西に約30km、南北に35kmの四角形に近い形となっており、535.23km²の行政面積を有しています。

道路は南北に国道40号、東側に国道239号が通り、また鉄道は南北に宗谷本線が走っており、古くから交通の要衝として幅広い生活圏域を形成した本市は、道北圏の中心都市として発展してきました。

気候は、日本海気象の影響を受ける内陸部に属していることから寒暖の差が激しく、夏冬の温度差は60℃にも及びます。夏季は昼夜の温度差が大きく、冬季は寒気が厳しく降雪量も多い気象条件を有しています。



2 沿革

風連地域は、明治32年、旧村名「多寄町」の名称のもとに剣淵村外3カ村戸長役場の管轄に入ったことにはじまり、風連村を経て昭和28年の町制施行で風連町になりました。

名寄地域は、明治33年、山形県東田川郡東栄村（藤島町を経て鶴岡市）の有志により曙地区に開拓の鋤が下ろされて以来、上名寄村、名寄町を経て、昭和29年に旧智恵文村と合併後、昭和31年に北海道内21番目の市として市制を施行しています。

こうした中で、古くから地理的・人的つながりの深かった両市町は、人的・財政的基盤を強化する必要の高まりを背景に、平成18年3月27日に新設合併して「名寄市」が誕生しました。

3 人口と世帯数

平成25年4月末日現在 人口 29,760人 世帯数 14,615世帯
《内 外国人 139人 112世帯（複合世帯含む）

目次

名寄市の概況

I 教育行財政

- 1 名寄市教育目標 ----- 1
- 2 教育委員会 ----- 2
- 3 名寄市の教育財政 ----- 5

II 学校教育

- 1 平成 25 年度名寄市学校教育推進計画 ----- 8
- 2 市内小中学校の概要 ----- 14
- 3 幼稚園教育 ----- 16
- 4 学校給食センター ----- 17
- 5 名寄市立大学・名寄市立大学短期大学部 ----- 20
- 6 就学の助成 ----- 27
- 7 各種助成制度 ----- 30
- 8 名寄市教育研究所 ----- 31
- 9 その他学校一覧 ----- 34

III 社会教育

- 1 平成 25 年度名寄市社会教育推進の重点 ----- 35
- 2 生涯学習課・名寄市公民館の事業計画 ----- 37
- 3 風連生涯学習担当・
名寄市風連公民館の事業計画 ----- 43
- 4 名寄市智恵文公民館の事業計画 ----- 47
- 5 スポーツ振興事業計画 ----- 49
- 6 市内体育施設 ----- 55
- 7 名寄市児童センター ----- 59
- 8 名寄市青少年センター ----- 62
- 9 名寄市教育相談センター ----- 63
- 10 名寄市北国博物館 ----- 64
- 11 市立名寄図書館 ----- 68
- 12 なよろ市立天文台 ----- 70

IV 資料

- 1 審議会・委員会 ----- 72
- 2 旧名寄市教育の沿革 ----- 75
- 3 旧風連町教育の沿革 ----- 82
- 4 名寄市教育の沿革 ----- 86

1 名寄市教育目標

天塩川にはぐくまれた実りある大地に生きる私たち名寄市民は 郷土の歴史と文化を継承し 国際化の時代をしなやかにたくましく生き ともに支え合
い うるおいと生きがいのある社会の実現をめざしてこの目標を定めます

- 1 北国の風土に生き たくましく成長する人をはぐくみます
- 2 自ら学び 創造的に生きる人をはぐくみます
- 3 ふれあいを大切にし 心豊かな人をはぐくみます
- 4 勤労と責任を尊び よりよい社会を築く人をはぐくみます
- 5 新しい時代を切り拓き 郷土の発展に尽くす人をはぐくみます

(制定 平成 19 年 4 月 1 日)

2 教 育 委 員 会

1 教育委員



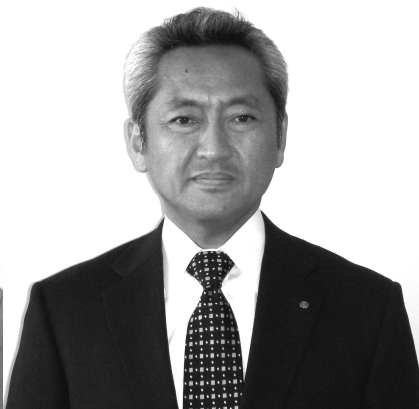
委員長 梅野 博



委員長職務代理者 松田 潤子



委員 中尾 公一



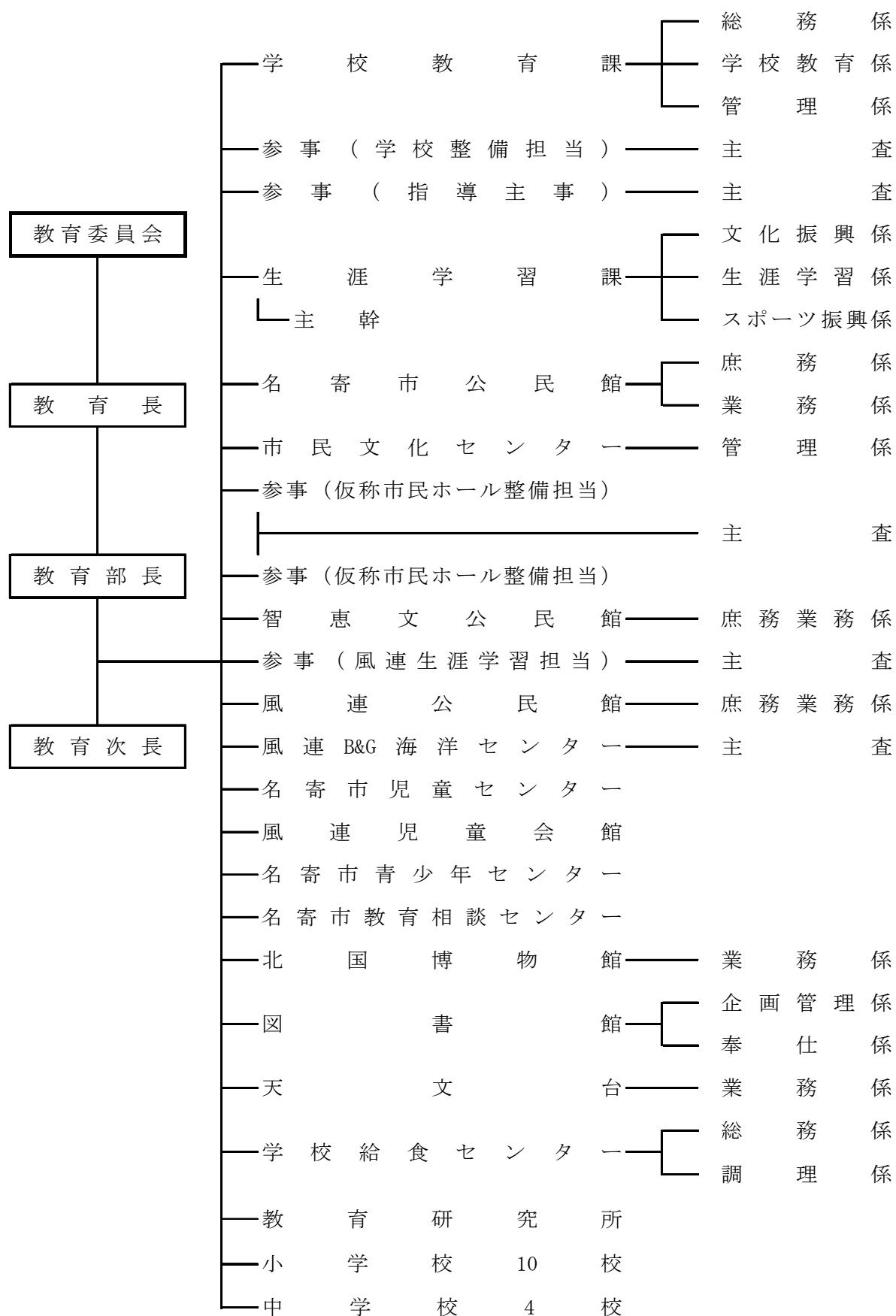
委員 高橋 雅樹



教育長 小野 浩一

	氏 名	委員就任年月日	住 所
委員長	梅 野 博	平成 12 年 10 月 1 日	名 寄 市 西 1 条 北 1 丁 目
委 員	松 田 潤 子	平成 20 年 5 月 16 日	名 寄 市 風 連 町 字 中 央 5 5 3 - 1
委 員	中 尾 公 一	平成 21 年 5 月 16 日	名 寄 市 風 連 町 本 町 6 8 番 地
委 員	高 橋 雅 樹	平成 25 年 4 月 1 日	名 寄 市 西 1 条 南 3 丁 目
教育長	小 野 浩 一	平成 23 年 7 月 1 日	名 寄 市 西 10 条 南 10 丁 目 53 番 地 4 8

2 行政組織



3 名寄市教育委員会職員数

(平成25年 5 月 1 日現在)

	教育部長・次長	課長・館長・所長・幹事・参事	社教主事	係長・主査	主任	事務職員	技術職員	栄養士	教育職員	外国語指導助手	嘱託臨時	計
	2											2
学 校 教 育 課		1		3	1	4	1			2	36	48
参事（学校整備担当）		1		(2)								1(2)
参事（指導主事）		1		(2)								1(2)
生 涯 学 習 課		2	(2)	2(1)		5					1	10(3)
名 寄 市 公 民 館		(1)		(3)		(5)						(9)
市民文化センター		(1)		(1)		(2)						(4)
参事（仮称市民ホール整備担当）		(2)		1(1)		(1)					1	2(4)
智 恵 文 公 民 館		(1)		(1)							1	1(2)
参事（生涯学習担当）		1		1			1				2	5
風 連 公 民 館		(1)		(1)			(1)					(3)
風連B&G海洋センター		(1)		(1)							5	5(2)
児 童 セ ン タ ー		1				1					14	16
風 連 児 童 会 館		(1)				(1)					6	6(2)
青 少 年 セ ン タ ー		(1)				(1)					1	1(2)
教育相談センター		(1)				(1)					4	4(2)
北 国 博 物 館		(1)		1	1						5	7(1)
図 書 館		1		2	1						14	18
天 文 台		1		1		1					3	6
学校給食センター		1		1(1)				道(2)			31	33(3)
教 育 研 究 所									(222)			(222)
計	2	10(11)	(2)	12(14)	3	11(11)	2(1)	道(2)	(222)	2	124	166(263)

※（ ）＝併任・兼務者数

3 名寄市の教育財政（平成25年度）

1 一般会計予算

【歳入】

（単位：千円）

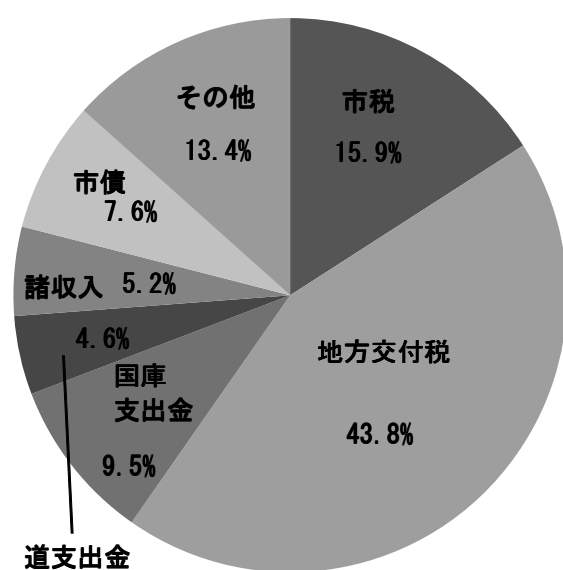
区 分	当初予算額	構成比
市 税	3,003,358	15.9%
地 方 交 付 税	8,252,000	43.8%
国 庫 支 出 金	1,797,219	9.5%
道 支 出 金	868,775	4.6%
諸 収 入	989,522	5.2%
市 債	1,431,900	7.6%
そ の 他	2,508,078	13.4%
計	18,850,852	100.0%

【歳出】

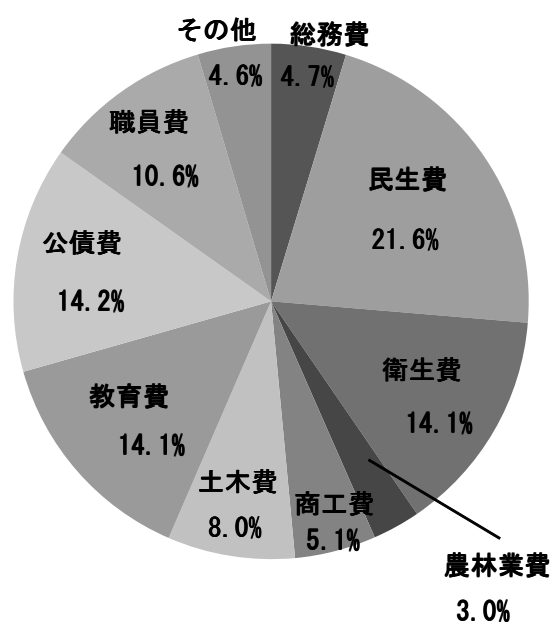
（単位：千円）

区 分	当初予算額	構成比
総 務 費	884,038	4.7%
民 生 費	4,074,401	21.6%
衛 生 費	2,666,176	14.1%
農 林 業 費	574,192	3.0%
商 工 費	957,852	5.1%
土 木 費	1,516,723	8.0%
教 育 費	2,651,956	14.1%
公 債 費	2,678,283	14.2%
職 員 費	1,996,532	10.6%
そ の 他	850,699	4.6%
計	18,850,852	100.0%

※歳入グラフ



※歳出グラフ



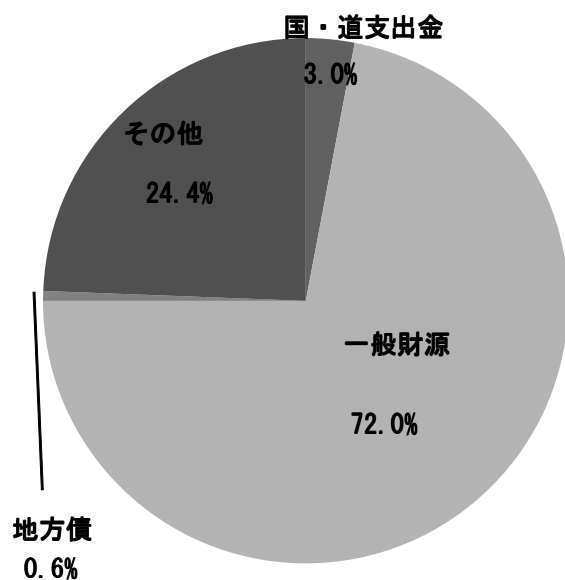
2 教育費の内訳

【歳入】

(単位：千円)

区 分	当初予算額	構成比
国・道支出金	79,072	3.0%
一般財源	1,909,606	72.0%
地方債	15,900	0.6%
その他	647,378	24.4%
計	2,651,956	100.0%

※歳入グラフ

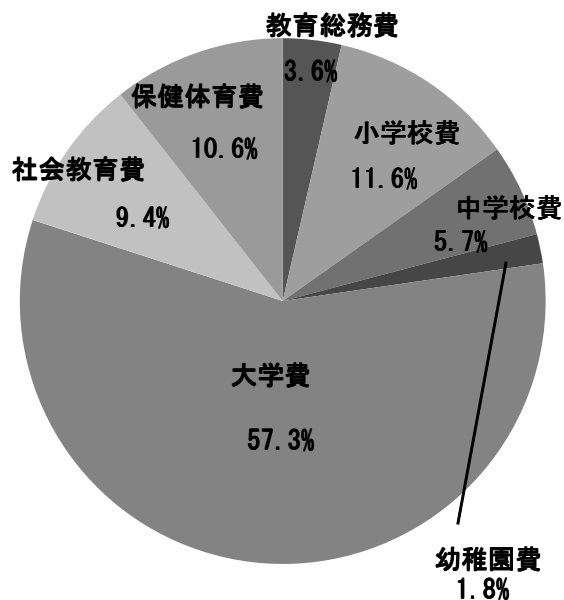


【歳出】

(単位：千円)

区 分	当初予算額	構成比
教育総務費	96,548	3.6%
小学校費	307,552	11.6%
中学校費	151,115	5.7%
幼稚園費	46,597	1.8%
大学費	1,519,222	57.3%
社会教育費	249,655	9.4%
保健体育費	281,267	10.6%
計	2,651,956	100.0%

※歳出グラフ



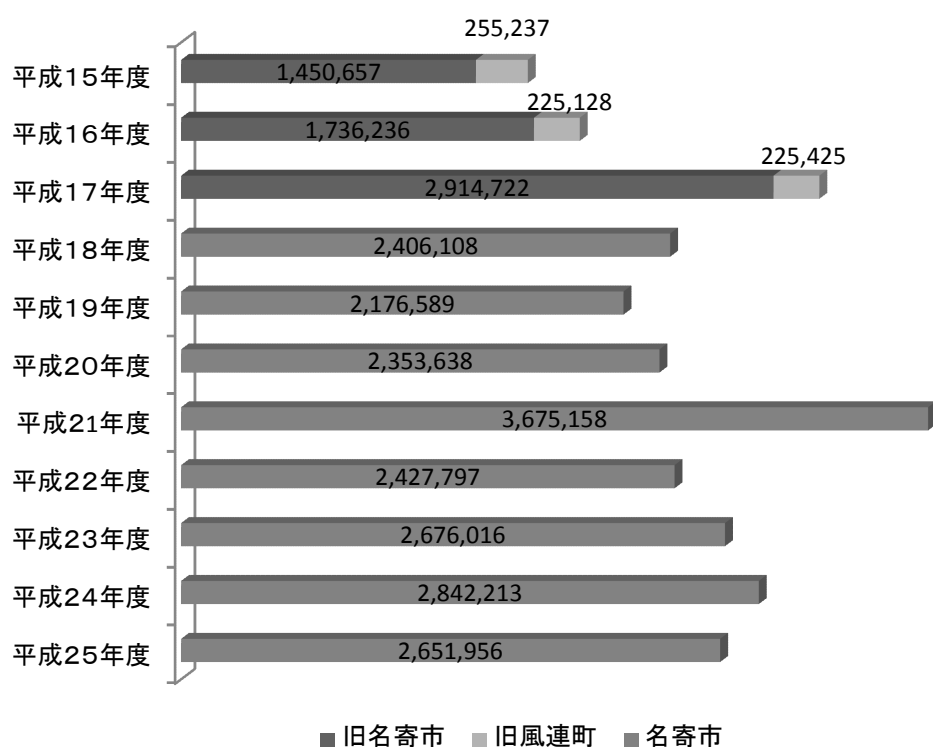
3 教育費予算

(単位：千円)

科 目	(a) 平成25年度 当 初 予 算 額	(b) 平成24年度 当 初 予 算 額	(c) 比 較 増 減 (a)-(b)	(d) 対 前 年 比 (c) ÷ (b) × 100
教 育 費	2,651,956	2,842,213	△ 190,257	△ 6.7
教 育 総 務 費	96,548	88,178	8,370	9.5
小 学 校 費	307,552	306,315	1,237	0.4
中 学 校 費	151,115	291,088	△ 139,973	△ 48.1
幼 稚 園 費	46,597	44,385	2,212	5.0
大 学 費	1,519,222	1,488,707	30,515	2.0
社 会 教 育 費	249,655	313,358	△ 63,703	△ 20.3
保 健 体 育 費	281,267	310,182	△ 28,915	△ 9.3

4 教育費の推移（大学費以外の職員費を除く）

(単位：千円)



1 平成 25 年度 名寄市学校教育推進計画

【基本理念】

生命に畏敬の念をもち、他人を思いやる心豊かな児童生徒の育成を期するとともに、自主・自律の精神をもち、しなやかにたくましく生きぬくことのできる人間の育成に努める。

【学校経営の方針】

1 学校の自主性・自律性の確立

- (1) 学校の自主性・自律性を発揮し、時代の要請に応える創意に富む学校経営の充実に努める。
- (2) 本市の自然環境や人材などの教育資源を生かしながら、特色のある多様な教育活動を展開し、児童生徒が意欲的に学校生活に取り組むことができる、特色ある学校づくりの推進に努める。

2 確かな学力を育てる教育の推進

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力の育成に努める。
- (2) 相手の考えや意見を正しく理解し、自らの考えや意見を適切に伝えることのできる、他者や社会との豊かな関係を築くためのコミュニケーション能力の育成に努める。

3 豊かな心を育てる教育の推進

- (1) 基本的な倫理観を身に付けさせるとともに、本市が有する自然環境や歴史、伝統、文化などの特性を生かしながら、自らの生き方を支え、精神的なよりどころとなる、人間尊重の精神や生命への畏敬、思いやりの心や美しいものに感動する心など豊かな心の育成に努める。
- (2) 社会性や豊かな人間性を育み、社会の一員としての自覚を促すため、学校と地域社会との連携の下で、自然環境など本市が有する優れた教育資源を生かした多様な体験活動やボランティア活動等の充実に努める。

4 健やかな体を育てる教育の推進

- (1) 生涯にわたって運動等に親しむ資質や能力を育成するため、学校と家庭、地域社会が連携を深めながら、運動する機会を増やすなど、体力・運動能力の向上に努める。
- (2) 日常生活において自己の健康の保持増進を図るために必要な実践力を身に付け、生涯を通じて健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、学校と家庭、地域社会が相互に連携を深めながら、健康教育の推進に努める。

5 学校評価・学校職員評価の工夫

- (1) 重点目標の達成状況等について評価する自己評価の実施とその公表や保護者・地域住民等による学校関係者評価の充実に努める。
- (2) 学校評価を効果的に生かすことで今日的な教育課題を的確に受け止め、その課題解決を図り、活力ある学校経営の充実に努める。
- (3) 教職員の特性を生かした校務分掌を組織し、学校職員評価を機能させながら教育目標を効果的に達成する学校経営の推進に努める。

6 危機管理体制の確立

- (1) 生命の尊さを自覚し、校内外の事故や交通事故から自らを守る能力や態度を身に付けさせる安全指導の充実に努めるとともに、家庭や地域社会と一体となった事故の未然防止体制の確立に努める。
- (2) 教職員の危機管理意識を高めるとともに組織体制の確立と機能の充実に図り、危機管理マニュアルや安全マップの充実、登下校時の通学路における児童生徒の安全確保などに努める。
- (3) 校内研修等において服務規律ハンドブック等を活用し、教職員の服務規律の保持の徹底に努める。

7 開かれた学校づくり

- (1) 学校の教育活動その他の学校運営の状況について保護者等に積極的に情報提供する取組の充実に努める。
- (2) 学校評議員制度の充実に図るなど、学校と家庭、地域社会との連携をより深め、期待と信頼に応える開かれた学校づくりに努める。

【学校教育活動の重点】

1 教育課程

- (1) 学習指導要領の示すところに従い、知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成を目指し、地域や学校の実態及び児童生徒の心身の発達の段階や特性を十分考慮して、適切な教育課程を編成、実施し、不断の評価、改善に努める。
- (2) 創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。
- (3) 教育課程全体のバランスを図りながら、地域や学校及び児童生徒の実態等を考慮し、学習指導要領に基づいて各教科等の教育活動を適切に実施するための授業時数を具体的に定め、指導に必要な時間の実質的な確保に努める。
- (4) 学校がその目的を達成するため、地域や学校の実態等に応じ、家庭や地域の人々の協力を得るなど家庭や地域社会との連携を深めることに努める。また、学校相互の連携や交流を図るとともに、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習や高齢者などとの交流の機会の設定に努める。

2 学習指導

- (1) 国語科における指導はもとより、その他の教科等においても、児童生徒による発表や討議、ノート記述、レポート作成などの言語活動を適切に位置付け、豊かな言語能力の育成に努める。
- (2) 児童生徒が日常生活における言語の役割や機能などについて意識や関心をもって正しい国語を用いるよう指導することが必要であり、また、教師自身が児童生徒より一層言語に対する意識と関心をもって指導に当たるとともに、学校生活全体における言語環境の整備に努める。
- (3) 体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を重視するとともに、児童生徒の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習の促進に努める。
- (4) 児童生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れ、自主的に学ぶ態度の育成に努める。

- (5) 児童生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や児童生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実に努める。
- (6) 児童生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価するとともに、指導の過程や成果を評価し、指導の改善を行い学習意欲の向上に生かす評価の工夫に努める。
- (7) 図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動の充実に努める。
- (8) 家庭との連携を図りながら、宿題や予習・復習など家庭での学習課題を適切に課すなど家庭学習も視野に入れた指導の工夫に努める。
- (9) 外国語活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、指導の工夫を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に努める。
- (10) 児童生徒にコンピュータ等の操作の仕方や情報モラルを身に付けさせ、情報手段を効果的に活用できるようにするための学習活動の充実に努める。

3 道徳教育

- (1) 校長が道徳教育の方針を明確にし、指導力を発揮して、全教師が協力して道徳教育を展開するため、道徳教育推進教師を中心として、道徳教育の全体計画と道徳の時間の年間指導計画を作成、実施し、不断の評価、改善に努める。
- (2) 校長の方針の下、学校が組織体として一体となった道徳教育を進めるために、道徳教育推進教師の役割を明確にし、全教師が力を発揮できる体制の整備に努める。
- (3) 道徳的価値の自覚を深める指導を一層充実することができるよう、集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動などの体験活動を生かすなど、児童生徒の発達の段階や特性等を考慮した創意工夫ある指導に努める。
- (4) 児童生徒が道徳的価値について自ら考えることができるよう、「心のノート」の趣旨を生かし、道徳の時間を振り返ったり、自らの心の成長を記録したりするなどの活用方法の工夫に努める。

4 特別活動

- (1) 各教科、道徳、外国語活動及び総合的な学習の時間などの指導との関連を図るとともに、家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫した全体計画や年間指導計画を作成、実施し、不断の評価、改善に努める。
- (2) 学校や児童生徒の実態に即して指導のねらいを明確にした題材を設定し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる学級活動の充実に努める。
- (3) 自発的、自治的な活動を促す児童会・生徒会活動、クラブ活動や部活動、その他の教科外活動において児童生徒自らが意欲的に参加する効果的な指導体制の確立に努める。
- (4) 全校または学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養う学校行事の工夫に努める。

5 総合的な学習の時間

- (1) 学校における全教育活動との関連の下に、目標及び内容、育てようとする資質や能力及び態度、学習活動、指導方法や指導体制、学習の評価計画などを示した全体計画及び年間指導計画を作成、実施し、不断の評価、改善に努める。
- (2) 各教科、道徳、外国語活動及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習に生かすとともに、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の探究的な学習過程を確立し、それが発展的に繰り返される学習活動の工夫に努める。
- (3) 互いの発見の共通点と相違点を考えたり、異なる視点から意見を交換したりするなど、他

者と協同して課題を解決しようとする学習活動の展開に努める。

- (4) 学校図書館の活用、他の学校との連携、各地区の公民館、市立図書館、市立天文台、北国博物館等の社会教育施設や社会教育関係団体等との連携、地域の教材や学習環境の積極的な活用などの工夫に努める。

6 生徒指導

- (1) 児童生徒の自己実現を図るため、学習指導を含む日常の学校生活において、児童生徒の発達段階に応じた自己選択や自己決定の場や機会を設定し、自己指導能力の育成に努める。
- (2) 児童生徒理解のねらいを明確にし、資料収集や研修などを通して多面的・総合的な理解に努めるとともに、教育相談を充実し、児童生徒の悩みや困難の解決を援助することにより、望ましい人格の育成に努める。
- (3) いじめや不登校、薬物乱用、ネット上のいじめや出会い系サイト等による福祉犯被害などの未然防止を図り、早期発見・早期指導を行うため、校内の協力体制を確立するとともに、家庭や地域社会、生徒指導連絡協議会や教育相談センター等の関係機関との連携強化に努める。

7 へき地・複式教育

- (1) 小規模校の特性を生かし、地域社会と一体となった特色ある教育活動の推進を図る指導計画を作成、実施し、不断の評価、改善に努める。
- (2) 地域の自然や文化などの教育資源を活用し、体験的・問題解決的な活動を取り入れた指導の工夫に努める。
- (3) 児童生徒に学び方を身に付けさせ、主体的な学習を促す「直接指導」や「間接指導」の充実に努める。
- (4) 児童生徒の社会性や創造性の伸長を図るため、集合学習や交流学習等の促進に努める。また、集合学習や交流学習等の計画、実施を通して、授業実践交流や研修の共同化に努める。

8 キャリア教育

- (1) 各学校において定めるキャリア教育の目標や内容、育成すべき能力や態度、各教科等との関連、指導方法や指導体制、評価の観点などを示した全体計画及び年間指導計画を作成、実施し、不断の評価、改善に努める。
- (2) 社会科見学や職場体験活動等を効果的に実施し、児童生徒の望ましい勤労観や職業観を育てる指導の充実に努める。

9 健康教育

- (1) 生涯スポーツの観点に立ち、スキー、カーリングなど地域の教育資源を生かした活動や縄跳びなど各学校の特色を生かした「1校1実践」の取組等を充実し、体力の向上に努める。
- (2) 学校における適切な環境衛生を保持するとともに、疾病や感染症予防などに対する意識を高め、児童生徒の健康の保持増進に努める。
- (3) 児童生徒の発達段階に応じた指導内容を明確にし、性や大麻等の薬物乱用防止など健康に関する指導の徹底に努める。
- (4) 家庭と連携して「早寝・早起き・朝ご飯」運動の実施や給食指導等を通して正しい食生活の習慣化を図るなど食育の充実に努める。
- (5) 児童の口の健康と虫歯予防のため、全小学校でフッ化物洗口の適切な実施に努める。

10 特別支援教育

- (1) 就学指導委員会の効果的な運営を推進するとともに関係機関と緊密な連携を図り、就学指導及び中学校における進路指導の充実に努める。
- (2) 児童生徒一人一人の教育的ニーズに適切に対応するため、校内における全校的な支援体制

(3) LDやADHD、高機能自閉症など困り感のある児童生徒への教育支援の充実に向け、特別支援学校や特別支援教育専門家チーム等による教育相談を活用しつつ家庭や医療・福祉等の関係機関と連携して、個に応じた指導目標や内容、指導方法、指導体制の工夫に努める。

(1) 姉妹都市や近隣諸国との国際交流の促進、ALTやネイティブ・スピーカーの活用を図るなどして、国際理解と豊かな地域文化の創造を促す教育活動の推進に努める。

- (1) 今日的教育課題の解決に向けて、名寄市教育研究所の研究班活動や教育改善プロジェクト委員会の取組等との連携を図り、小中学校が一体となった研修の推進に努める。
- (2) 学校の教育課題の解決に向けて、教職員一人一人の参画意識を高め、専門性・創造性を発揮させる校内研修の推進に努める。
- (3) 教職員の専門性や指導力を高めるため、各種研修会への参加など教職経験に応じた研修の充実に努める。

(1) 小規模校における通学区域外の就学制度（バリアフリースクール）を設け、豊かな自然環境に恵まれた本市の郊外小規模校において基幹産業を活用した特色ある学習活動を展開し、豊かな心とたくましい体の育成に努める。

東風連小学校 : 各学年 8 名以内 (")

- (1) 名寄市教育委員会及び教育関係機関と緊密に連携し、情報を共有することにより学校の諸課題の解決を図るとともに、効果的な運営の推進に努める。
- (2) 少年団活動、学校支援地域本部事業、部活動など課外の諸活動・事業の効果的な取組に向けて、関係機関・団体との連携に努める。

平成 25 年度 名寄市 学校教育推進計画 全体構造図

【市 民 憲 章】	
・自分のまちに誇りと責任をもち、みんなで話し合いながら、住みよいまちをつくります。 ・からだところの健康を大切にし、互いに温かい思いやりをもつて、安心して暮らせるまちをつくります。 ・豊かな自然を守り育て、自然と調和した暮らしの環境をととのえ、快適でうるおいのあるまちをつくりま す。 ・楽しく働き、創造力を発揮し、豊かな暮らしを誇れる活力に満ちたまちをつくります。 ・知性と感性をみがき、こころ豊かな人と薫り高い文化を育み、希望に輝くまちをつくります。	

【基 本 理 念】	
生命に畏敬の念をもち、他人を思いやり心豊かな児童生徒の育成を期するとともに、自主・自律の精神をもち、しなやかにたくましく生きぬくことのできる人間の育成に努める。	
【 学 校 経 営 の 方 針 】	
1 学校の自主性・自律性の確立 2 確かな学力を育てる教育の推進 3 豊かな心を育てる教育の推進 4 健やかな体を育てる教育の推進 5 学校評価・学校職員評価の工夫 6 危機管理体制の確立 7 開かれた学校づくり	

【名寄市教育目標】	
1 北国の風土に生き たくましく 成長する人をはぐくみます 2 自ら学び 創造的に生きる人をはぐくみます 3 ふれあいを大切に し 心豊かな人をはぐくみます 4 勤労と責任を尊び よりよい社会を築く人をはぐくみます 5 新しい時代を切り拓き 郷土の発展に尽くす人をはぐくみます	

【学 校 教 育 活 動 の 重 点】												
教育課程	学習指導	道徳教育	特別活動	総合的な学習の時間	生徒指導	へき地・模範教育	キャリア教育	健康教育	特別支援教育	国際理解教育	研修活動	通学区の弾力化
□学習指導要領に基づく適切な編成、実施、評価、改善 □基礎的・基本的な知識・技能の習得 □思考力、判断力、表現力等の育成 □授業時数の実質的な確保 □幼、小、中、高、大など相互の連携や交流	□言語活動の充実、言語環境の整備 □自主的、自発的な学習の促進 □個に応じた指導の充実 □学習意欲の向上に生かす評価の工夫 □家庭学習を視野に入れた指導の工夫 □コミュニケーション能力の素地を養う外国語活動	□道徳教育を中心とした全体計画等の作成、実施、評価、改善 □道徳教育の推進 □道徳教育の役割を明確にした協力的体制の整備 □道徳的価値の自覚を深める創意工夫ある指導 □「心のノート」の活用方法の工夫	□各教科等との関連や家庭や地域との連携等を工夫した全体計画等の作成、実施、評価、改善 □健全な生活態度等を育てる学級活動の充実 □自発的、自治的活動を促す児童会・生徒会、クラブ活動等 □集団への所属感等を深める学校行事の工夫	□目標や内容、資質や能力等を示した全体計画等の作成、実施、改善 □探究的な学習過程の確立 □他者と協同して課題を解決する学習活動の展開 □市立天文台や北国博物館等の施設や地域の学習環境等の積極的な活用	□自己指導能力の育成 □多面的・総合的な児童生徒理解 □教育相談の充実 □いじめや不登校など問題行動の未然防止、早期発見・早期指導 □生徒指導・連絡協議会や教育相談センター等の関係機関との連携	□地域社会と一体となった特色ある教育活動の推進 □体験的・問題解決的な活動を取り入れた指導の工夫 □学び方を身に付けさせる直接指導や間接指導の充実 □集合学習や交流学習等の促進、授業実践交流や研修の共同化	□目標や内容、資質や能力等を示した全体計画等の作成、実施、改善 □社会科見学や職場体験活動等の効果的な実施、望ましい勤労観や職業観を育てる指導の充実	□地域の教育資源を生かした活動や各学校の特色を生かした「1校1実践」の取組による体力の向上 □適切な環境衛生の保持、感染症の予防 □性や薬物乱用防止など健康に関する指導の徹底 □「早寝・早起き・朝ご飯」運動等を通じた食育	□就学指導委員会の効果的な運営、就学指導の充実 □特別支援教育コーナーを中心とした校内委員会の機能の充実 □特別支援学校や特別支援教育専門家のチーム等による教育相談の活用	□国際交流の促進 □ALITなどの効果的な活用	□名寄市教育研究所の研究活動や教育改善プロジェクト委員会の連携 □学校の教育課題の解決を図る校内研修の推進 □教職経験に応じた研修の充実	□郊外小規模校における通学区外就学制度の設定 □特色ある学習活動の展開
教育関係機関等との連携												

2 市内小中学校の概要

1 市内小学校一覧

(平成 25 年 5 月 1 日現在) ※ 教員数等には休職者を含む

学 校 名	校 長 名	所 在 地	電話・FAX 番号	児童数		学級数	教員数	養 護	栄 養	事 務
名 寄 小 学 校	寺口 悟	西 1 条南 1 丁目 2 番地	01654-3-3304 01654-3-3305	特学 普通	12 245	5 9	6 17	1	1	2
名 寄 南 小 学 校	小西 信輝	西 6 条南 12 丁目 55 番地 2	01654-2-4164 01654-2-4165	特学 普通	9 371	5 13	6 20	1		1
名 寄 東 小 学 校	馬場 信明	東 3 条南 3 丁目 11 番地	01654-2-2041 01654-2-4179	特学 普通	15 140	5 6	7 10	1		1
名 寄 西 小 学 校	室 篤宏	西 7 条南 1 丁目 18 番地	01654-2-4177 01654-2-4178	特学 普通	11 243	4 9	5 15	1		1
中 名 寄 小 学 校	鷹合 勇	字日彰 285 番地	01654-2-3889 01654-9-5640	特学 普通	2 19	1 3	1 5	1		1
智 恵 文 小 学 校	田村 啓一	字智恵文 12 線南 3 番地	01654-8-2241 01654-9-3550	特学 普通	1 25	1 4	1 6	1		1
豊 西 小 学 校	塚澤 栄一	西 15 条南 4 丁目 14 番地 2	01654-3-4573 01654-3-3973	特学 普通	5 192	3 7	4 15	1		1
東 風 連 小 学 校	菰澤美智子	風連町字東風連 3396 番地	01655-3-3367 01655-3-3397	特学 普通	1 14	1 3	5	1		1
風連下多寄小学校	澤田 重和	風連町字瑞生 1558 番地	01655-3-3932 01655-3-3940	特学 普通	1 7	1 2	4			
風連中央小学校	染木 圭男	風連町西町 201 番地	01655-3-2031 01655-3-2569	特学 普通	7 144	4 7	5 12	1	1	1
風連日進小学校		閉 校								
小学校 10 校 計				特学 普通	64 1400	30 63	35 109	9	2	10

2 市内中学校一覧

(平成 25 年 5 月 1 日現在) ※ 教員数等には休職者を含む

学 校 名	校 長 名	所 在 地	電話・FAX 番号	生徒数		学級数	教員数	養 護	事 務
名 寄 中 学 校	狩野 博	字豊栄 101 番地 1	01654-2-2147 01654-2-2148	特学 普通	6 268	2 8	3 16	1	1
名 寄 東 中 学 校	松井 清隆	西 2 条北 8 丁目 1 番地 3	01654-2-3174 01654-2-3175	特学 普通	5 283	3 9	4 19	1	1
智 恵 文 中 学 校	土肥 哲哉	字智恵文 11 線北 2 番地	01654-9-3010 01654-9-3011	特学 普通	2 12	2 2	2 6	1	1
風 連 中 学 校	山本 昇一	風連町新生町 167 番地 1	01655-3-2026 01655-3-2266	特学 普通	3 94	3 3	3 10	1	1
風連日進中学校		閉 校							
中学校 4 校 計				特学 普通	16 657	10 22	12 51	4	4

※小・中学校とも電話・FAX 番号欄は上段が電話番号、下段が FAX 番号

3 小中学校児童生徒数の推移

(1) 小学校

年 次	区 分	学校数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	児童数
平成 23 年度	風連地区	4	24	22	39	31	28	34	178
	名寄地区	7	217	226	239	232	208	180	1,302
	計	11	241	248	278	263	236	214	1,480
平成 24 年度	風連地区	4	27	24	22	38	30	26	167
	名寄地区	7	201	221	220	237	223	205	1,307
	計	11	228	245	242	275	253	231	1,474
平成 25 年度	風連地区	3	38	23	24	22	37	30	174
	名寄地区	7	228	190	209	215	233	215	1,290
	計	10	266	213	233	237	270	245	1,464

(2) 中学校

年 次	区 分	学校数	1 年	2 年	3 年	生徒数
平成 23 年度	風連地区	1	37	41	39	117
	名寄地区	3	221	197	206	624
	計	4	258	238	245	741
平成 24 年度	風連地区	1	33	36	41	110
	名寄地区	3	167	214	197	578
	計	4	200	250	238	688
平成 25 年度	風連地区	1	27	33	37	97
	名寄地区	3	198	167	211	576
	計	4	225	200	248	673

4 中学校卒業生の進路状況

年 次	区 分	卒業生数	進学者		就職者		その他	
			人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)
平成 23 年 3 月	風連地区	33	33	100.0				
	名寄地区	226	224	99.1			2	0.9
	計	259	257	99.2			2	0.8
平成 24 年 3 月	風連地区	39	39	100.0				
	名寄地区	206	205	99.5			1	0.4
	計	245	244	99.5			1	0.4
平成 25 年 3 月	風連地区	41	40	97.6	1	2.4		
	名寄地区	197	196	99.5			1	0.5
	計	238	236	99.2	1	0.4	1	0.4

3 幼稚園教育

本市には、私立幼稚園が5園あり、それぞれの園において幼稚園教育要領に基づき教育課程を編成し、特色ある教育活動を行っています。市はこれまで幼児教育の振興と幼稚園経営の充実・安定のため助成・支援を行っています。

また、小学校との日常的な連携を密にし、小学校教育への円滑な接続・移行が図られるよう努めます。

1 名寄市内の幼稚園（いずれも私立幼稚園）

（平成25年5月1日現在）

幼稚園名	住 所	電 話	代表者	設立年月日	就園状況			合 計
					3歳児	4歳児	5歳児	
学校法人 山崎学園 光名幼稚園	西2条南10丁目 1番地	01654- 2-4741	園長 山崎 博信	S33. 6. 10	27	32	35	94
学校法人 北海道キリスト教学園 名寄幼稚園	大通南2丁目14 番地	01654- 3-0280	園長 中川 貞恵	S25. 9. 1	11	48	26	85
学校法人 寄大谷学園 名寄大谷認定こども園 名寄大谷幼稚園	西5条南2丁目 10番地	01654- 2-2668	園長 白井 慶子	S33. 5. 6	39	34	37	110
学校法人 旭川カトリック学園 名寄カトリック幼稚園	西3条南4丁目 17番地	01654- 2-2632	園長 長尾 俊宏	S25. 9. 13	28	32	29	89
学校法人 風連学園 風連幼稚園	風連町西町284番 地	01655- 3-2133	園長 加藤 紀子	S29. 5. 10	19	17	15	51

2 幼稚園教育振興事業

- ・私立幼稚園振興補助（幼稚園経営の助成）
- ・幼稚園就園奨励費補助（入園料及び保育料の助成）

※ 平成22年度より幼稚園教育振興事業の担当窓口がこども未来課に変更となりました。

4 学校給食センター

1 施設の概要等

- ・名 称 名寄市学校給食センター
TEL 01654-2-4307 (FAX 2-4308)
- ・位 置 〒096-0035
北海道名寄市西5条北10丁目54番地6
- ・開設年月 平成3年12月改築 (平成4年1月供給開始)
- ・改修工事 平成18年12月 (風連町合併に伴う改修工事)
- ・敷地面積 3,257.75 m²
- ・建物面積 997.163 m² (建築基準法 1,104.789 m²)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部2階建
- ・排水処理施設 80 m² (回転円板方式)



2 名寄市学校給食センターの概要

名寄の学校給食は、戦後混乱期の昭和22年(1947年)に名寄小学校で始まりました。

この給食は、父母が食材を持ち寄って行われたボランティアによるものであったと記録に残っています。

本格的に学校給食が開始したのは昭和41年(1966年)になってからであり、現名寄小学校の敷地に学校給食センターが開設され各小中学校に給食が提供されるようになりました。

当時は児童生徒数も多く、1日約6,300食を供給していました。

その後、このセンターは26年間使用いたしましたが施設の老朽化に伴い、平成4年1月より最新設備の整った現在の学校給食センターに移転し、現在に至っています。

3 名寄市の学校給食の沿革

昭和22年	名寄小学校で学校給食開始
昭和23年	名寄南小学校で学校給食開始
昭和40年9月	センター建設着工（名寄市西1条南1丁目）
昭和40年12月	センター完成（鉄筋ブロック造一部2階建・470.55㎡）
昭和41年4月	センター方式で全小中学校へ学校給食開始（6,254食）
昭和45年8月	食缶・食器の配送を廃止し、パック方式に。
昭和49年6月	使い捨て容器を廃止し、回収食器に。
昭和52年9月	米飯給食開始
昭和61年6月	パック方式を廃止し、食缶方式に。
昭和63年1月	もち給食開始
昭和63年4月	赤飯給食開始
平成3年5月	現センター建設着工
平成3年12月	現センター完成
平成4年1月	供給開始
平成5年4月	アレルギー給食開始
平成6年5月	会食型高齢者給食開始（随時）
平成7年7月	宅配型高齢者給食開始（毎週 金曜日）
平成9年5月	サテライト型デイサービス給食開始（毎週 月・水・金曜日）
平成15年2月	国体給食
平成18年12月	風連町・名寄市合併に伴う改修工事
平成19年2月	学校給食センターの部分的民営化に向けて検討
平成19年4月	風連町・名寄市合併に伴う学校給食センターの統合
平成19年4月	会食型・宅配型高齢給食の民営化
平成19年5月	風連町・名寄市合併に伴う学校給食会の統合
平成21年4月	名寄市学校給食用食材供給施設（旧風連学校給食センター）供用開始

4 学校給食センターの状況

・平成25年度事業計画

小中学校 全校2,373名 (児童生徒2,137名+教員236名)	小学校10校 1,464名+教員165名	309,510食/年
	中学校4校 673名+教員71名	141,360食/年
保育所（僻地）、試食等		25,000食/年
年間稼働日数（208日）		475,870食/年
1日当たり平均食数		2,288食/日

・平成25年度学校給食センター稼働日 208日

1学期	4月4日～7月25日	77日間
2学期	8月20日～12月25日	86日間
3学期	1月20日～3月25日	45日間
合 計		208日間

・給食費

		一食単価	
小 学 校	低学年（１・２年生）	２３１円	H 19 年 度 改 正
	中学年（３・４年生）	２３３円	
	高学年（５・６年生）	２３５円	
中 学 校		２７５円	

・給食の内容

米 飯	週 3.5 回
パ ン	週 0.5 回 （２週間に１回）
麺 類	週 １回

・職員構成

（35名）

（平成25年4月1日現在）

市職員			道職員	嘱託職員	臨時職員		
所長	総務係長	調理師	栄養士	配送・ボイラー	栄養士	調理職員	調理パート
1	1	0	2	6	2	2	21

・特色

- ① 平成5年4月より、食物アレルギーを持つ児童・生徒が健康な生活を営めるよう、家庭の食事療法に協力するという立場でアレルギー給食を実施しています。
 - ・アレルギー給食（平成25年5月1日現在33名の児童生徒へ供給）
 - 小学校（児童） 27名
 - 中学校（生徒） 6名
- ② 米飯、魚を基本にした日本型給食です。使用する食材料は地場産のものを活用することで安全性を図りながら、栄養バランスにも配慮した献立メニューを専門の栄養士が立案します。
- ③ 季節の行事食を提供。（各 節句かしわもち、さくらもち、大好きパン、ケーキ等）学校給食の献立に地域の郷土料理や伝統料理を取り入れることは、国や地域の伝統文化を継承していくための関心や意欲を高める上で大きな教育効果が期待できます。
- ④ 地場産品の活用

地場産業の育成に繋がるということで、地場産食材を積極的に取り入れています。

地元米粉・もち米粉を使用したパンの提供も行い、地場産米の消費拡大を図っています。

自然との関わり、大地の恵み、地場産業に携わる人々を思い起こしてもらえればと考えています。

学校給食において地場産物を使用することにより、児童生徒が学校給食の食材を「生きた教材」として、地場産物の活用の意味や地域の産業、働く人々について理解するとともに、地域社会に対する誇りや愛情を育てることができます。

5 名寄市立大学

名寄市立大学短期大学部

1 名寄市立大学・名寄市立大学短期大学部の理念・目的・教育目標

(1) 名寄市立大学

①理念

ケアの未来をひらき、小さくてもきらりと光る大学を目指す。

②目的

◎名寄市立大学は、高度な知識と技術および高い倫理性を有し、保健・医療・福祉の連携と協働を支える専門職を育成する。

◎名寄市立大学は、地域が抱える種々の課題について研究し、それらを解決することによって新しい未来をひらく。

③教育の目標

◎多様でかけがえのない存在である「ひと」への理解を深めるとともに、自らの人間性と能力を高める力を育む。

◎専門領域の知識や技術を高めるとともに、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を育む。

◎関連する諸領域を幅広く理解し、支援サービスの連携・協働においてパートナーシップを発揮できる力を育む。

◎幅広い理解力・判断力を養う教養や社会問題への関心を持ち続ける心を育む。

◎地域社会はもとより、人類が抱える諸問題と異文化にも関心を持ち、広く世界の中で自己の存在を位置づけ行動する意欲を育む。

(2) 名寄市立大学短期大学部

①基本理念

全人教育と広い視野に立った職業人の育成

保育士と幼稚園教諭を養成するに当たって、保育士技術や専門知識を身につけるばかりでなく、良き社会人・良き教養人であることが、優れた保育者の資質として求められる。そのため本学では、平和・人権・異文化理解に関する学習を通し、社会的視野を持って、主体的に学ぶ学生を養成する。

少人数教育の実践

学生個々の関心・志向と学習プロセスに配慮をし、入学時より少人数のゼミナールに分けて教育を行なう。合わせて総合演習シンポジウムなど、学科全体で取り組むことにより、豊かな個性と人間性、他者への共感と自主・自立の気概、的確な判断力と実行力などを備えた「ひと」への支援を実践できる人材を育む。

地域社会の教育的活用と地域貢献

「ひと」への理解や自らが志す職能への認識と自覚を、学生が速やかに深めていくよう、体験型学習やボランティア活動など、学外における学習活動を推進する。こうした地域社会を積極的に活用する教育活動と、児童福祉や幼児教育に係わる地域課題の解決に向けた研究活動や、地域で実践に携わる人材の卒業教育活動を通して、地域に貢献する。

②教育目標

◎児童福祉サービスおよび幼児教育の展開に貢献できる人材の育成

◎北海道に立脚する大学として「地域に貢献し、地域に開かれた大学」であること

3 名寄市立大学・名寄市立大学短期大学部の現況

(1) 学生の在籍状況 (単位：人) (平成25年5月1日現在)

学科等 学年	保健福祉学部												短期大学部			合計		
	栄養学科			看護学科			社会福祉学科			学部計			児童学科					
	男	女	小計	男	女	計	男	女	小計	男	女	計	男	女	小計	男	女	計
1 年	5	41	46	6	47	53	20	36	56	31	124	155	0	49	49			
2 年	4	35	39	8	43	51	15	36	51	27	114	141	1	52	53			
3 年	4	38	42	3	51	54	16	36	52	23	125	148						
4 年	2	38	40	8	44	52	22	33	55	32	115	147						
計	15	152	167	25	185	210	73	141	214	113	478	591	1	101	102	114	579	693

(2) 教員組織 (単位：人) (平成25年5月1日現在)

保健福祉学部	学科名	学長	専任教員数					助手	専任教員1人 当たり学生数
			教授	准教授	講師	助教	計		
保健福祉学部	栄養学科	1	4	4	2	5	15	0	11.1人
	看護学科		6	5	5	3	19	2	11.1人
	社会福祉学科		7	6	1	1	15	0	14.3人
	教養教育部		4	3	1	0	8	0	—
	小計	1	21	18	9	9	57	2	10.4人
短大部	児童学科	1(兼)	4	2	2	0	8	0	12.8人
	小計	1(兼)	4	2	2	0	8	0	—
合計		1	25	20	11	9	65	2	

(3) 事務組織 (単位：人) (平成25年5月1日現在)

事務局長	課	課長	係長	係	嘱託	事務補助	計
1	総務課	1	1	3	9	1	2
	教務課	1	2	4	—	—	—
	学生課	(1)	2	—	3	—	—
1		2	5	7	12	3	30

(4) 平成25年度入試結果 (単位：人) (平成25年5月1日現在)

保健福祉学部	入試	栄養学科 (入学定員40人)					看護学科 (入学定員50人)					社会福祉学科 (入学定員50人)				
	区分	募集人員	志願者数	受験者数 A	合格者数 B	倍率 A/B	募集人員	志願者数	受験者数 A	合格者数 B	倍率 A/B	募集人員	志願者数	受験者数 A	合格者数 B	倍率 A/B
	推薦	15	55	55	15	3.7	20	61	61	21	2.9	20	30	30	21	1.4
社会人	若干名	2	2	1	—	—	若干名	1	1	0	—	若干名	0	0	0	—
	一般前期	21	68	58	28	2.1	25	129	101	35	2.9	25	139	123	39	3.2
	一般後期	4	55	16	4	4.0	5	82	29	5	5.8	5	143	55	13	4.2

短期大学部	入試	児童学科 (入学定員50人)				
	区分	募集人員	志願者数	受験者数 A	合格者数 B	倍率 A/B
	推薦	25	61	61	26	2.3
社会人	若干名	0	0	0	—	—
	一般	20	58	58	24	2.4
	センター利用	5	29	29	9	3.2

(5) 平成 24 年度卒業者の就職進学等状況 (単位：人) (平成 25 年 5 月 1 日)

		卒業 者数	就職決定者数		就職率	進学 者数	その他	備考
保健福祉学部	栄養学科	42	市内	1	92.5%	0	2	
			道内	21				
			道外	14				
			小計	36				
	看護学科	52	市内	7	100.0%	3	1	看護師就業 38人（市内 5人） 保健師就業 10人（市内 1人）
			道内	30				
			道外	11				
			小計	48				
	社会福祉学科	55	市内	0	91.7%	0	1	
			道内	35				
			道外	9				
			小計	44				
短期大学部	児童学科	55	市内	1	100.0%	2	2	保育士就業 23人 幼稚園教諭就業 11人
			道内	47				
			道外	3				
			小計	51				
合 計		204		179		5	6	

(6) 平成 24 年度卒業者の国家資格取得状況 (単位：人)

学科名	国家資格	受験 者数	合格 者数	合格率(%)	全国新卒 合格率(%)
栄養学科	管理栄養士	42	30	71.4%	82.7%
看護学科	看護師	50	50	100.0%	94.1%
	保健師	51	51	100.0%	97.5%
社会福祉学科	社会福祉士	50	19	38.0%	31.4%

(7) 平成 24 年度卒業者の教員免許取得状況 (単位：人)

保健福祉学部	中学校教諭 1 種	社会	18
	高等学校教諭 1 種	公民	17
		福祉	14
	特別支援学校教諭	知的・肢体不自由・病弱	19
	栄養教諭 1 種		11
短期大学部	幼稚園教諭 2 種		55

4 図書館の概要

(1) 施設の概要

区分	面積		閲覧席数	収納可能冊数
図書館本館(本館1F)	449m ²	638m ²	120席	約80,000冊
図書館分館(恵陵館2F)	189m ²			

(2) 図書、学術雑誌、視聴覚資料、電子情報等の整備状況

表 1-1 蔵書数

(単位：冊)

年度	本館		分館		総和書数	総洋書数	総蔵書数
	和書	洋書	和書	洋書			
2011	54,494	1,987	26,164	1,109	80,658	3,096	83,754
2012	55,425	2,071	26,529	1,201	81,954	3,272	85,226

表 1-2 逐次刊行物 (単位：冊)

年度	和雑誌						洋雑誌					雑誌 総数
	栄養	看護	社会 福祉	児童	共通	総数	栄養	看護	社福 児童	共通	総数	
2011	16	72	36	16	25	165	15	7	0	0	22	187
2012	16	72	36	16	24	164	15	7	0	0	22	186

表 1-3 視聴覚資料数

年度	CD	DVD	ビデオ	カセット テープ	紙芝居	CD- ROM	総数
2011	104	319	816	15	79	41	1,374
2012	106	362	816	27	79	51	1,441

表 1-4 電子ジャーナル・データベース利用 (平成 25 年 3 月 31 日現在) (単位：ダウンロード数)

メディカル オンライン	CiNii		医中誌		聞蔵Ⅱ	EBSCO Academic		
	DL数	アクセス数	検索数	アクセス数	検索数	アクセス数	検索数	
	284	5,341	47,916	4,225	17,838	283	274	2,761

表 1-5 図書受入 (平成 25 年 3 月 31 日現在) (単位：冊)

種類	図書	雑誌
冊数・誌数	2,045 (2,043)	193 (193)
全国平均	2,086 (2,340)	245 (246)

※平均は、平成 24 年度学術情報基盤実態調査-単科公立大学 (括弧内は前年度のデータ)

(3) 図書館利用状況

表 2-1 図書貸出状況 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

	貸出冊数		貸出人数	
	冊	冊/日	人	人/日
総計	16,092	66.8	6,670	27.7
	(14,520)	(66)	(6,443)	(27)
学生	14,372	59.6	6,062	25.2
	(12,470)	(52)	(5,707)	(24)
教職員	1,224	5.2	408	1.7
	(1,369)	(6)	(464)	(2)
学外者	465	1.9	190	0.8
	(663)	(3)	(261)	(1)
団体等	11	0.05	10	0.04
	(18)	(0)	(11)	(0)

※括弧内は前年度のデータ (開館日数 241 日)

表 2-2 学科別貸出状況（平成 25 年 3 月 31 日現在）

	貸出冊数		貸出人数	
	冊	冊/日	人	人/日
栄養	3,744	15.5	1,597	6.6
	(3,085)	(13)	(1,501)	(6)
看護	4,968	20.2	2,108	8.7
	(5,086)	(21)	(2,378)	(10)
社会福祉	3,215	13.3	1,310	5.4
	(3,093)	(13)	(1,351)	(6)
児童	2,545	10.6	1047	4.3
	(1,206)	(5)	(476)	(2)

※括弧内は昨年度のデータ

5 施設の概要

施 設	摘 要		面 積
校地等	校舎敷地		42,400㎡
	運動場(グラウンド)		29,633㎡
	計		72,073㎡
校舎	本館(看護学科・児童学科・図書館)	RC造 3階建(一部2階建)	8,652㎡
	新館(管理、情報処理・栄養実習室)	RC造 3階建(一部2階建)	3,712㎡
	恵陵館(社会福祉学科・栄養学科)	RC造 3階建	6,932㎡
体育館等	①体育館(本館)②多目的ホール(恵陵館)	鉄骨造 平屋建	2,229㎡
学生会館	学生食堂・サークル室・同窓会室等	RC造 2階建	511㎡
学生寮	収容定員39人	RC造 3階建	1,090㎡

6 主な地域との連携交流事業等の状況（平成 24 年度）

（１）公開講座等の実施状況

①平成 24 年度名寄市立大学教育職員免許法認定公開講座（有料）

- 開 講 目 的 教職員免許法に基づく特別支援学校教諭免許状取得のための短期講座（知的障害、肢体不自由障害）
- 対 象 在職 3 年以上の現職教員等
- 実 施 期 間 平成 24 年 7 月 31 日～8 月 11 日
- 受 講 者 47 名

②名寄市立大学看護セミナー市民公開講座

- 開 催 月 日 平成 24 年 12 月 20 日
- 基礎講義 「ストーマ・褥瘡ケアのサイエンスアトー病院・施設・在宅における最新ストーマ・褥瘡ケア」
宮城大学看護学部 教授 徳永恵子氏
- 参 加 者 140 名

③道北地域研究所 地域シンポジウム

- 開 催 月 日 平成 24 年 11 月 10 日
- 基 調 講 演 「ネットワークづくりと『親育ち』ーさっぽろ子育てネットワークの経験からー」
北星学園大学准教授・さっぽろ子育てネットワーク代表 河野和枝氏
- パネラー報告 名寄地域子育て支援センターさくらんぼ 奥村澄子氏

名寄市保健センター 住友美和氏
名寄市社会福祉協議会 三品百合子氏
子育て・親育ての会 吉田征子氏

○パネルディスカッション

コーディネーター 名寄市立大学准教授 大坂祐二

○参加者数 58人

④道北地域研究所市民公開講座

○統一テーマ 「地域資源を利用したまちづくり」

○実施内容 平成24年7月25日

第1回「シカを食べる」

講演 釧路短期大学生生活科学科准教授 岡本匡代氏

平成24年10月10日

第2回「女子大生の視点で作る地域名物～石狩の取組から～」

講演 藤女子大学人間生活部長・食物栄養学科教授 池田隆幸氏

平成24年10月31日

第3回「高齢者と映画づくり」

講演 田んぼ de ミュージカル事務局長 斉藤征義氏

⑤名寄市立大学短期大学部こどもセミナー

○テーマ 「保護者支援において保育者に求められるもの～一人ひとりを大切に
するために～」

○開催日 平成24年11月23日

○基調講演 「保護者支援と感情労働としての保育」

講演者：諏訪きぬ氏（NPO法人 さやまサポートの会）

○シンポジウム 「保護者支援において求められるもの」

話題提供者：菅原信子氏（旭川のびろ保育園園長）

話題提供者：藤本史代（帯広あじさい保育園園長・帯広市地域子
育て支援センターあじさい所長）

話題提供者：小泉桃子氏（伊達市京王幼稚園教諭）

指定討論者：諏訪きぬ氏

○参加者 172名

⑥第11回平和・人権・歴史を考える若者たちの国際シンポジウム

○テーマ 「私たちが享受する「平和」・私たちが創る平和」

○開催月日 平成25年1月26日

○基調講演 「原発と平和」

美術史家 ブルース・ダーリング氏

○シンポジウム 「留学前の私と今の私」 矢部桜子さん

「私が目指すべき社会～政治で社会を変えようと決意した理由～」

吉田美奈子さん

「多民族が生きている国・日本」 小樽商科大学4年 阿部千里さん

「領土問題は埋められない溝なのか」

東大阪市荒川小学校教諭・指導専任 李 相雲さん

○平和を語るコンサート&交流会 ピアノ・語り シャンソン歌手 尾崎美千代さん

○参加者 約130名

（2）学生のボランティア・地域との交流活動（地域交流センター報告から）

◎ボランティア活動等

①ボランティア登録学生数 44名

②地域交流・ボランティア依頼件数 50件

③地域交流・ボランティア参加件数 35件

④地域交流・ボランティア参加者数延 281 名

⑤主な参加・協力・支援活動

＊ふれあい広場 2012 なよろ

＊ふれあい家族交流会

＊サンピラー公園花壇整備

◎学外機関・団体・企業と連携した交流活動等

①北都新聞社 連載「名大の時間」

②コミュニティFM放送 エフエムなよろ「info 名大」

(3) 連携協定（高大連携・地域連携）

①名寄高等学校 高大連携事業の推進 大学教員による出張講義等

②名寄市教育委員会 特別支援教育に関する共同研究

ティーチングアシスタント（学生）の派遣

③北星信用金庫 産学連携事業の推進 各種セミナー等の開催支援

6 就学の助成

1 就学援助

経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、その就学に必要な援助を行います。

(1) 平成 25 年度就学援助費の内訳 (ただし、※は平成 24 年度実績の平均支給額)

区 分		小 学 校	中 学 校	支 給 内 容
新入学児童生徒 学用品費等	1 年	円 15,900	円 18,300	小学校又は中学校に入学する児童生徒が通常必要とする学用品及び通学用品
学 用 品 費	1～6 年	8,900	—	各教科及び特別活動の学習に必要とされる学用品
	1～3 年	—	17,400	
通 学 用 品 費	2～6 年	1,700	—	通学用靴、雨傘等の通学用品に関わる経費
	2～3 年	—	1,700	
体育実技用具費	スキー	※ 25,179	※ 33,500	体育授業の参加に必要な体育実技用具
	柔道着	—	3,800	
宿 泊 校 外 活 動 費		※ 135	※ 3,906	学校行事として宿泊を伴う校外活動に参加するために必要な交通費及び見学科などの経費
修 学 旅 行 費		※ 20,758	※ 51,315	修学旅行に必要な交通費、宿泊費、見学科などの経費
学 校 給 食 費	1～6 年	※ 45,885	—	学校給食に要する食費の金額
	1～3 年	—	※ 51,736	
医 療 費		※ 6,220	※ 14,180	伝染病又は学習に影響のある疾病（学校病）にかかり、学校から治療の指示を受けた場合、その治療に要する費用（※学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白せん、疥せん及び濃痂湿疹、中耳炎、慢性鼻腔炎及びアデノサイド、う歯、寄生虫をいう。）

(2) 平成 22・23・24 年度就学援助の状況

(単位：千円)

区 分		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
小学校	実 施 人 員	249	248	237
	決 算 額	17,568	17,196	16,247
中学校	実 施 人 員	152	167	140
	決 算 額	15,253	17,472	14,688
計	実 施 人 員	401	415	377
	決 算 額	32,821	34,668	30,935

2 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するための援助を行うことにより、特別支援教育の振興を図ります。

(1) 平成 25 年度就学奨励費の内訳（ただし、※は平成 24 年度実績の平均支給額）

区 分		小 学 校	中 学 校
新入学児童生徒 学用品費等	1 年	円 9,950	円 11,450
学用品費等購入費	2～6 年	5,550	—
	2～3 年	—	10,850
体育実技用具費	スキー	12,650	18,150
	柔 道	—	3,650
宿 泊 校 外 活 動 費		—	※ 0
修 学 旅 行 費		※ 10,035	※ 26,589
学 校 給 食 費	1～6 年	※ 20,995	—
	1～3 年	—	※ 25,491
通 学 費	通級指導教室	※ 1,965	—
	特別支援学級	※ 11,865	—

(2) 平成 22・23・24 年度特別支援教育就学奨励費の状況

(単位：千円)

区 分		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
小学校	実 施 人 員	36	42	41
	決 算 額	1,356	1,526	1,394
中学校	実 施 人 員	10	8	8
	決 算 額	570	401	461
計	実 施 人 員	46	50	49
	決 算 額	1,926	1,927	1,855

3 育英資金利子補給制度

名寄市では、学業成績が優秀であって経済的に就学が困難な学生及び生徒に対して、他機関から貸付けを受けた奨学金並びに修学資金にかかる利子の一部を補給する制度を次により実施しています。

(1) 奨学生の資格

- ① 親又はこれに代わるべき者が名寄市民であること。
- ② 大学院、大学、専修学校（専門課程）、各種学校、高等専門学校及び高等学校に在学していること。
- ③ 学業成績優秀、性行善良であること。
- ④ 学資の支弁が困難であること。

(2) 対象者

上記の資格を有した者で、独立行政法人日本学生支援機構奨学生として有利子奨学金の貸付けを受けた者又は(株)日本政策金融公庫の修学資金、民間金融機関等の修学制度資金の貸付けを受けた者。

(3) 申 込 期 間 毎年10月末日まで

(4) 利子補給額

下記基準額（貸付けを受けた額が基準額に満たない場合は、貸付けを受けた額）に対し、

- ① 独立行政法人日本学生支援機構奨学生・・・基準額にその貸付利率を乗じて得た額
- ② 上記以外・・・所得金額によって、基準額に利率3%を限度として補給。

※利子補給基準額：月額

区 分	補給基準額（月額）
大 学 ・ 大 学 院	40,000 円
専 門 学 校	30,000 円
高 等 専 門 学 校	15,000 円
高 等 学 校	10,000 円

4 育英金貸付事業（風連地区特例区事業）

合併に伴い、平成18年度から5年間の特例区事業として、要件を満たす者に対し教育資金の貸付制度（無利子）を実施していましたが、平成22年度をもって終了しました。

貸付けを行った育英金については、今後も引続き返還していただきます。

7 各種助成制度（学校教育課所管）

1 名寄市教育振興補助事業

名寄市における文化・スポーツの振興を図るため、名寄市教育振興基金を活用し、全道・全国大会に出場する小中学校児童生徒及び全国大会に出場する高等学校生徒に対し、大会出場に要する費用の一部を助成します。

平成 22・23・24 年度事業の実績

（単位：千円）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
申請事業数	38	35	38
補助金交付額	2,313	2,535	2,670
うち小学生	637	570	577
うち中学生	1,631	1,844	2,093
うち高校生	45	121	0

2 特色ある教育活動助成金交付事業

市内児童生徒の健全育成を目的として、特色ある教育活動を行う者に対し、その活動に要する費用の一部を助成します。

平成 22・23・24 年度事業の実績

（単位：千円）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
申請事業数	4	4	4
補助金交付額	81	95	84
うち小学生	31	45	34
うち中学生	0	0	0
うち高校生	0	0	0
うちその他	50	50	50

8 名寄市教育研究所

平成25年度運営計画

1 研究主題

「心豊かに、たくましく生きぬく児童生徒の育成」

2 研究主題設定の理由

上川管内教育研究会は、研究テーマ「北国に生き、未来を切り拓く子どもの育成 ～心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ『上川教育』の創造～」から、郷土を愛し地域に根ざした教育の実現を目指している。

名寄市教育研究所は、研究主題を「心豊かにたくましく生きぬく児童生徒の育成」と設定し各種事業や研修活動に取り組んできた。本年度も8年目の継続研究主題として設定し、その達成に向けた一層の研究推進が必要と考える。小学校では平成23年度から、中学校では昨年度から全面実施された学習指導要領では、「生きる力」という理念を継承し、それを支える「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和を重視し、知識・技能の習得と活用力の育成を図るとともに、伝統と文化に関する教育や道德教育、体験活動の充実等が求められている。

これらを踏まえ、名寄市教育目標（①北国の風土に生き たくましく成長する人 ②自ら学び 創造的に生きる人 ③ふれあいを大切にし 心豊かな人 ④勤労と責任を尊び よりよい社会を築く人 ⑤新しい時代を切り拓き 郷土の発展に尽くす人）にも照らし合わせ、名寄市の風土と歴史のもとに培われた文化・芸術を大切にし、郷土を愛する知性と感性に満ちた他を思いやる「心豊かに、たくましく生きぬく児童生徒の育成」に向け、今年度も研究活動を推進する。

3 運営の基本方針

- (1) 研究主題の解明にあたっては、テーマと結び付く具体的な研究を実践できるように努める。
- (2) 名寄市教育研究所の事業、研究実践の推進に努める。
- (3) 上川管内教育研究会、上川教育研修センター等と連携し、研究推進体制の充実に努める。
- (4) 授業公開による研究交流や日常の実践的な交流、外部講師・外部施設等の活用によって、活発な班研修の実施に努める。
- (5) 小中連携に努め、課題や情報の発信の場となるように努める。
- (6) 全研連、道研連等の関係機関の動向に留意し、連携が深まるように努める。

4 事業

- (1) 所報（名寄市教育・研究紀要含む）の発行
 - ・年3回発行（6月、11月、3月）
- (2) 名寄市教育研究大会の開催
 - ・目的：名寄市教育研究所研究主題の課題解決のために研究委託校の研究実践を助成し、成果の交流深化を図り、名寄市教育の推進向上に努める。
 - ・平成25年度研究委託校：豊西小、名寄東中
 - 研究委託校は、授業研究会を開催し、実践の成果を公開する。
- (3) 研究班一斉研修日の開催
 - ・年3回開催（4月、6月、8月）
 - ・まとめの一斉研修日は設定せず、各班の方法で工夫してまとめを行う。
- (4) 名寄市教育研究発表集会の開催
 - ・講演と専門委員会・調査研究部の発表
- (5) 上川管内教育研究会北部地区研究大会への参加・協力
 - ・平成25年10月1日（火）開催
- (6) 調査研究活動の実施
 - ・名寄市の教育課題や今日的教育課題について調査・分析を行い資料等にまとめる。
 - ・名寄市教育改善プロジェクト委員会との連携

- (7) 名寄市小中学校音楽発表会の開催
 - ・平成25年10月3日（木）開催（会場：名寄東中）
- (8) 各種児童生徒作品展等の開催・協力
 - ・上教研北部地区Bブロック巡回作品展
 - ・市民文化祭小中学校児童生徒作品展
 - ・書道紙上作品展
 - ・読書感想文コンクール
- (9) その他
 - ・専門委員会等の活動の実施

5 事業推進の基本方針

名寄市教育研究所は、本来、北海道教育研究所連盟（道研連）に所属するが、上川管内の市町村教育研究会で構成されている上川管内教育研究会（上教研）との連携を図りながら事業を推進しているのが実態である。そのため「名寄市教育研究所」は、「道研連」と「上教研」との二面性をもっているものの「名寄市教育研究所条例」のもと、名寄市の教育発展のために、各種の提言、事業、教育実践活動等を行っている。そのことを基本におさえる必要がある。

名寄市の教育推進のために、名寄市教育研究所の果たす役割は重要であり、さらに活性化を図っていく必要がある。

(1) 総務部

- ① 各部・事業の連絡調整
 - ・各種事業の企画・運営について主幹する各部と連携を図りながら円滑な運営に努める。
- ② 関係団体との連携
 - ・道研連、上教研などの関係団体との連携協力を推進し、幅広い情報収集に努める。
- ③ 所報の発行
 - ・年3回の所報の発行により、研究体制や研究内容・活動内容等の情報の共有化を図る。
- ④ 会計業務
 - ・適正で効果的な執行に努める。
 - ・各部の業務が効果的に推進できるよう工夫して執行する。

(2) 調査研究部

名寄市の教育課題や今日的教育課題について調査研究を実施し、集計結果・分析・課題解決の方策等を報告する。

(3) 教育研究部

- ① 研究班活動
 - ・名寄市教育研究所研究主題に基づき、課題解明のための実践研究を推進する。
 - ・下川町教育研究会の研究班と連携し、研究の深化を図る。
 - ・外部人材、施設を有効に活用し、情報収集や交流を図る。
- ② 名寄市小中学校音楽発表会
 - ・各校の音楽教育の成果を児童生徒による音楽発表を通して広く一般市民に公開し、音楽に対する理解を深め、豊かな情操を育てる。
- ③ 名寄市教育研究大会 研究委託校制度
 - ・名寄市教育研究所の研究主題解決のために、研究委託校制度を設け、研究実践を助成し、名寄市教育研究大会での公開授業、研究討議を通して名寄市の教育推進の向上・発展に努める。
- ④ 名寄市教育研究発表集会
 - ・教育の今日的課題を踏まえた講演と専門委員会及び調査研究部の調査報告の2点に焦点化して研修を深める。（上記に伴い、各班の成果発表は、研究紀要「名寄市教育」に掲載し、誌面報告とする。）
- ⑤ 各種児童生徒作品展等の開催・協力
 - ・作品等の出品、審査などにより、各校の交流を図り、技術の向上とともに豊かな情操を養う。

(4) その他

必要に応じて専門委員会を設置し、その専門性に基づき、調査報告、提言などを行う。

名寄市教育改善プロジェクト委員会の取組

1 推進のテーマ

「児童生徒に『生きる力』を育み、夢と希望を拓く名寄市教育の創造 ～学校力を高める取組を通して～」

2 推進の重点

- ◎ 確かな学力の育成（平成24～26年度）
- 豊かな心、健やかな体の育成（平成26～28年度）

3 推進計画の概要

児童生徒に「生きる力」を育むために、「学習指導の工夫改善」「校内研修（研究）の充実」「教育資源等の活用」の3つの研究グループをつくり、平成24年度から5か年計画で研究を進める。とりわけ、平成24年度から3年間は、「確かな学力」の育成を図るために、実践的で効果の上がる方策を構築し、市内小中学校で共通理解を図りながら取組を進める。

4 今年度の主な取組

- （1）学習指導の工夫改善に関する研究グループ
 - ・チャレンジテストの効果的な活用
 - ・学習規律・生活規律の確立 など
- （2）校内研修（研究）の充実に関する研究グループ
 - ・校内研修推進リーフレットの充実
 - ・学校間連携による研修活動の推進 など
- （3）教育資源等の活用に関する研究グループ
 - ・天文台、図書館、博物館、カーリング場等の効果的な活用
 - ・地域ボランティアの効果的な活用
 - ・電子黒板等の効果的な活用 など

9 その他学校一覧

(平成25年5月1日現在)

		学 校 名	校長名	課 程	学級数	生徒数	所在地	電 話（FAX）
高等学校	道立	名 寄 高 等 学 校	丸山 年民	普 通 科	12	457	徳田204-1	（事務室TEL・FAX） 3-6841
				計	12	457		（職員室TEL） 3-6842
	道立	名 寄 産 業 高 等 学 校 （光 凌 キ ャ ン パ ス）	田 邊 幸 次	電 子 機 械 科	3	102	西 5 北 5	（事務室TEL・FAX） 2-3066
				建 築 シ ス テ ム 科	3	48		（職員室TEL） 2-3067
				生 活 文 化 科	3	103		
	道立	名 寄 産 業 高 等 学 校 （名 農 キ ャ ン パ ス）		酪 農 科 学 科	3	48	緑 丘 3 - 3	（TEL） 2-4191
				計	12	301		（FAX） 2-4192
各種学校	私立	上 川 北 部 医 師 会 附 属 准 看 護 学 院	吉 田 肇	准 看 護 師 科	2	43	西 5 北 2	（TEL） 2-5311
				計	2	43		（FAX） 2-5621

1 平成 25 年度

名寄市社会教育推進の重点

生涯学習とは、一人ひとりが自分に適した方法で、生涯を通じて自発的に行う学習のことであり、幅の広いものです。このように主体的にはじめた学習活動によって、個々が豊かになり、その個人が集まって社会に還元することにより社会が豊かになっていく、これが生涯学習型社会です。

社会教育行政はこのような生涯学習を推進するため様々な方法により、市民自らが主体的に活動していくことを支援し、援助する役割を担っています。

教育委員会では、平成 19 年度に策定しました「名寄市社会教育中期計画」を検証しながら発展的に継承し、名寄市における社会教育の推進方策を示すものとして、平成 25 年度から平成 29 年度までの 5 カ年間の「第 2 次名寄市社会教育中期計画」を策定しました。

社会教育中期計画に基づき、本年度は次のとおり推進方策を進めてまいります。

主要施策 1 生涯学習機会の提供

(1) 文化活動拠点施設整備

地域における社会教育活動の拠点として、各社会教育施設の充実と有効活用に努め、各種社会教育事業の実施や施設の管理運営等について、市民との協力・協働による効率的な運営に努めます。老朽化してきた社会教育施設の機能を維持管理するため、年次計画により営繕・補修に努めます。

(2) 生涯学習プログラムの整備と学習への支援

市民が学びたいときに学び、効率的な学習活動を実践していくために、情報提供や相談体制の整備に努め、また、市民の学習ニーズの把握に努めながら学習機会の提供に努めます。

乳幼児から高齢者まで生涯にわたり読書を通し学習ができる環境整備として、図書資料の収集とレファレンスサービスの充実を図るとともに、幼児施設や小・中学校に読書活動へつながる環境整備や支援を進めます。

(3) 天体観測を活かしたまちづくり事業

天文台の機能の充実を図るとともに、来館者の利便性の向上に努めます。移動式天文台車を活用するなど、学校教育との連携や社会教育における活動の推進を図ります。

主要施策 2 豊かな地域文化の継承と創造

(1) 市民ホールの活用

平成 26 年度開館予定の（仮称）市民ホールを地域文化活動の拠点として、その運営方法や企画などについて検討を進めます。

(2) 芸術文化振興事業

各種団体やサークルの自主的な取り組みを支援するとともに、市民が体験や発表する場の充実に努めるとともに、優れた芸術文化を鑑賞する機会の充実を目指し、芸術文化鑑賞バスツアーや招聘事業に努めます。

地域の文化活動を次世代に継承するための普及活動や発表の場の充実に努めるとともに、郷土の遺産や史跡などの文化財の保護、普及・啓発活動に努めます。

社会教育中期計画を受け、芸術・文化の継承、地域文化の創造と振興を図るために文化振興条例を策定します。

主要施策3 家庭教育の推進

(1) 家庭と地域の教育力の向上

様々な機会を利用して家庭教育に関する学習機会を提供するとともに、親子が絆を深め、親同士がコミュニケーションを図れるような場の提供に努めます。

地域社会や企業等が家庭教育について理解し、子育てを見守る環境が作られるよう働きかけます。

(2) 関係機関・団体とのネットワークづくり

家庭教育に関する総合的なネットワークの構築を目指し、情報の収集に努めるとともに、家庭、学校、地域の関係する機関・団体などと連携に努めます。

主要施策4 生涯スポーツの振興

(1) スポーツ施設の整備

市民皆スポーツを目指して、スポーツ施設の整備や改修など環境整備に努めるとともに、効率的な利用促進を図ります。

(2) スポーツ振興事業

昨年度実施されました「市民のスポーツ環境・意識調査」において、スポーツや運動の必要性と継続性、機会や場の創出の大切さが指摘されており、スポーツの環境整備の充実と合わせ、各種スポーツ教室やスポーツ大会の支援などを体育協会や地域スポーツクラブなどと協力して進めるとともに、指導者の育成・強化を図ります。

主要施策5 青少年の健全育成

(1) 青少年健全育成事業

豊かな人間性や社会性などを培うために様々な体験学習や都市との交流事業などの機会を提供するとともに、子ども会育成連合会と協力し、青少年の健全育成や育成環境の整備に努めます。

青少年を取り巻く社会環境の変化が、子ども達の健全な育成に大きな影響を及ぼすことから、関係する様々な情報を収集し、共有化を図るとともに、非行防止活動や環境浄化に努めます。

児童生徒や保護者等からの悩みについて、相談体制の充実を図るとともに、各学校や関係機関と連携や情報提供の協力を努め対応します。

子どもの安全で健やかな居場所を確保するため、安全安心な施設運営に努め放課後児童対策の充実を図ります。

2 生涯学習課・名寄市公民館の事業計画

I 生涯学習社会の形成

◆文化活動拠点施設整備事業

◇市民文化センターの利用促進

市民文化センターの整備を進め、利用促進を図ります。

【施設概要】

- 1 所在地 名寄市西13条南4丁目2番地 (TEL 01654-2-2218)
- 2 開設年月日 昭和58年8月11日
- 3 主要施設

・多目的ホール	353.2 m ²	・生活研修室 A	30.0 m ²
・大会議室 A	80.0 m ²	・〃 B	90.0 m ²
・〃 B	80.0 m ²	・調理実習室	104.0 m ²
・小会議室	32.0 m ²	・営農研修室	72.0 m ²
・会議室	48.0 m ²	・視聴覚研修室	108.0 m ²
・市民工芸室	97.6 m ²	・展示ホール	294.8 m ²
- 4 利用案内
 - ・開館時間 午前9時～午後10時
 - ・休館日 毎月末日（ただし、その日が土・日曜日又は国民の休日にあたる時はその前日）
年末年始（12月30日～1月5日）



◆生涯学習プログラムの整備と学習への支援

1 趣味、教養、課題解決へ向けた学習活動の促進

(1) 平成25年度市民講座

趣味や教養、実生活での課題を解決するような学習活動の場を市民に提供することで、豊かな人間性と創造性を養い、地域の連帯感を醸成し、健康で安全な住みよい生活の場を主体的につくりあげる学びを支えることを目的に開設します。

(2) ジャックの豆事業（自主的学習グループ・サークル活動促進事業）

市民の自主的な学習グループ・サークル活動を組織化・活性化させるために必要な助成を行い、市民の生涯学習活動を促進します。

2 高齢者学級「名寄ピヤシリ大学」の開設

60歳以上の市民を対象に、一般教養やまちづくりに関する講座、社会見学、奉仕活動、体育祭、遠足、大学祭、クラブ活動、自治会活動など幅広い学習機会を提供します。

(1) 開設期間 4月23日～2月25日（毎月第2・4火曜日を原則として計20回開設）

(2) 公開講座の開設

ピヤシリ大学生、大学院生に加えて広く市民の参加を募るとともに、「道民カレッジ」（北海道教育委員会主催）の連携講座として年5回開講します。

(3) 自由研究・文集の発行

①大学4年生による自由研究

②文集「風雪」の発行

(4) 指導者養成・交流活動

①上川管内高齢者学びのつどいへの参加

②小学生との交流授業の実施

3 生涯学習啓発事業の実施

生涯学習フェスティバルの開催

・地域住民が学び習得している技術や、地域の特色ある諸活動などを紹介し、まちづくりを考え、実践する場として、生涯学習フェスティバルを開催します。

・10月27日（日）

4 公民館分館事業の支援

名寄地区に6分館（中名寄、曙、共和、瑞穂、弥生、日進）を設置し、地域独自の分館事業を支援します。

5 その他の生涯学習事業

(1) 生涯学習情報の提供、相談

(2) 生涯学習リーダーバンク事業

指導者登録制度「生涯学習リーダーバンク」の市民への周知と、指導者の登録促進と活用の推進を図ります。（平成25年5月1日現在登録者数 43名）

6 諸会議・研修会

- | | |
|--------------------|--------------------|
| (1) 社会教育委員の会会議 | 年3回(5月・11月・3月)開催予定 |
| (2) 名寄市公民館運営審議会 | 年2回(5月・2月)開催予定 |
| (3) 名寄市公民館分館長・主事会議 | 年1回開催予定 |

7 関係団体に対する負担金・補助金

- | | |
|-------------------------|------------|
| (1) 上川管内社会教育委員連絡協議会負担金 | 30,000円 |
| (2) 北海道社会教育委員連絡協議会負担金 | 54,000円 |
| (3) 北海道公民館協会上川支部負担金 | 7,000円 |
| (4) 北海道公民館協会負担金 | 52,000円 |
| (5) 名寄市女性団体連絡協議会補助金 | 220,000円 |
| (6) 名寄市PTA連合会補助金 | 300,000円 |
| (7) 名寄東小学校コミュニティ施設運営補助金 | 500,000円 |
| (8) ジャックの豆事業助成金 | 100,000円 |
| (9) 社会教育関係団体活動推進補助金 | 1,200,000円 |

II 家庭教育の推進

◆家庭と地域の教育力の向上

1 家庭教育学級の開設

名寄地区に3学級(幼稚園)開設し、各学級で自主的に学習内容を企画し実施します。

交付金 150,000円(50,000円×3学級)

2 家庭教育支援講座の開設

家庭教育を行ううえで必要な知識・技術の習得を目指した学習機会や、親子のコミュニケーションを深める機会を提供します。

III 生涯スポーツの振興 (P49～ 5 スポーツ振興事業計画に記載)

IV 青少年の健全育成

◆青少年健全育成事業

1 平成25年度野外体験学習事業「へっちゃLAND2013」

小学4年生から中学3年生の児童生徒を対象に、実行委員会を組織して実施します。

実施予定日 7月30日(火)～8月2日(金)(3泊4日)

2 名寄市公民館主催事業

(1) 夏休み子ども写生会

8月8日(木) 浅江島公園(作品展示8月8日～19日 市民文化センター)

(2) 冬休み子ども料理教室

12月26日(木) 市民文化センター

- (3) 第41回新春こども書き初め広場
1月8日(水) (作品展示1月8日～17日、表彰式1月17日) 市民文化センター
- (4) 第29回冬休み児童生徒作品展
2月4日(火)～17日(月) 市民文化センター
- (5) 春休み子ども英語クラブ
3月26日(水)～29日(土) 市民文化センター

3 名寄市子ども会育成連合会との共催事業

- (1) 「わくわく！体験交流会」
子ども達が様々な体験を通して、自主性や社会性を身に付けるとともに協調性や相手を思いやる心を育てることを目的として実施します。(年4回開催予定)
- (2) 子ども会活動促進事業
スポーツ大会(スポーツ・レクリエーション等交流事業)
実施予定日 11月24日(日)、12月中旬

4 学習活動の支援

青少年の学習活動のために用具等を貸し出します。

5 成人式運営事業

実行委員会を組織して式典、交流会を開催します。

- (1) 開催予定日 平成26年1月12日(日) (毎年1月第2日曜日)
- (2) 場 所 グランドホテル藤花

6 指導者養成事業

- (1) 育成指導者研修会
名寄市子ども会育成連合会との共催で開催します。
- (2) 育成指導者交流会
名寄市子ども会育成連合会との共催で、子ども会育成指導者間の親睦と情報交換を目的に実施します。

7 北海道教育委員会・管内関連事業

- (1) 青少年体験活動推進事業
北海道教育委員会が主催する青少年活動リーダー養成事業「ジュニアリーダーコース」への参加を支援します。
- (2) 「少年の主張」上川地区大会
全道大会につながる中学生対象の弁論大会に発表者1名を派遣します。

8 青少年育成団体に対する負担金・補助金

- | | |
|---------------------------|----------|
| (1) 名寄市子ども会育成連合会補助金 | 800,000円 |
| (2) 日本ボーイスカウト名寄第1団運営補助金 | 30,000円 |
| (3) へっちゃらLAND2013実行委員会補助金 | 400,000円 |
| (4) 名寄市成人式実行委員会負担金 | 550,000円 |

V 地域文化の継承と創造

◆芸術文化振興事業

1 文化活動への参加機会と芸術鑑賞機会の充実

(1) 第56回市民文化祭

◇市民が行っている各種文化活動について全市的な規模で発表する場をつくることで、文化活動への参加意欲を高め、地域文化の発展及び市民生活の充実に資することを目的に開催します。

◇具体的には加盟団体をはじめとする各種団体実行委員会を組織し、開催します。

◇芸能発表 11月3日(日) 市民会館大ホール

◇作品展示 11月1日(金)～3日(日) 市民文化センター

(2) 芸術文化鑑賞バスツアー

◇目的：優れた美術作品や公演を鑑賞し、豊かな情操を養い創造意欲を高め、芸術文化推進への意欲を育てる。

◇第1回 6月12日(水) 旭川市 定員33名

北海道伝統美術工芸村、北海道立旭川美術館…特別展「岸田劉生展」観覧

◇第2回 6月26日(水)～27日(木) 帯広市 定員33名

よつ葉工場、柳月スイートピアガーデン

六花の森、神田日勝記念美術館

◇第3回 7月17日(水) 美瑛町・富良野市 定員33名

西美の杜美術館、グラスフォレストインフラノ

◇第4回 8月29日(木) 上川町 定員33名

層雲峡・大雪山写真ミュージアム、塩狩峠記念館(三浦綾子旧宅)

◇第5回 9月19日(木)～20日(金) 予定 札幌市 定員33名

劇団四季「美女と野獣」観劇、北海道立近代美術館「星星會展」、
三岸好太郎美術館特別展「生誕110年記念 三岸好太郎展」観覧

◇第6回 10月18日(金) 予定 旭川市 定員33名

男山酒造り資料館、東川町文化ギャラリー

(3) であいの広場作品展示(名寄市・名寄市教育委員会主催・共催事業)

◇写友「北彩」 4月 9日(火)～16日(火)

◇小林白炎墨絵詩書作品展 4月27日(土)～5月19日(日)

◇写真道展巡回展 5月23日(木)～6月6日(木)

◇絵画ペニヨン展 6月13日(木)～20日(木)

◇切り絵作品展示会 6月25日(火)～30日(日)

◇へっちゃLAND写真展 日程未定

◇夏休み子ども写真会作品展 8月 8日(木)～19日(月)

◇高齢者を祝う会 9月13日(金)～17日(火)

◇朔人社美術協会 9月18日(水)～24日(火)

◇一騎展 9月28日(土)～10月5日(土)

◇素敵写真同好会 10月 6日(日)～14日(月)

◇ピヤシリ大学祭作品展 10月16日(水)～23日(水)

- ◇写真集団「翔」写真展 11月 6日(水)～18日(月)
- ◇細氷フォト研究会展 11月19日(火)～29日(金)
- ◇こども書き初め広場作品展 1月 8日(水)～17日(金)
- ◇冬休み児童生徒作品展 2月 4日(火)～17日(月)
- ◇小学生による「税の書道展」 日程未定
- ◇上川北部公民館ネットワーク高齢者作品巡回展 日程未定

2 地域活動の拡充と参加促進

市民盆踊り大会を、実行委員会を組織して実施します。

実施予定日 8月14日(水)、15日(木)

3 関係団体に対する負担金・補助金

- | | |
|-------------------------------|------------|
| (1) 名寄市文化協会補助金 | 360,000円 |
| (2) 市民盆踊り大会実行委員会補助金 | 200,000円 |
| (3) 名寄太鼓補助金 | 100,000円 |
| (4) 市民文化祭・生涯学習フェスティバル実行委員会補助金 | 350,000円 |
| (5) なよろ舞台芸術劇場実行委員会補助金 | 1,200,000円 |

3 風連生涯学習担当・風連公民館の事業計画

I 生涯学習機会の提供

◆文化活動拠点整備事業

【施設概要】

1 ふうれん地域交流センター（愛称：風っ子ホール）

※指定管理者制度導入平成 25 年 4 月 1 日～

（1）所 在 地 名寄市風連町本町 6 3 番地（TEL 01655-3-2620）

（2）開設年月日 平成 22 年 4 月 12 日

（3）利 用 案 内

・開館時間 午前 9 時～午後 10 時 休館日なし

2 風連陶芸センター

（1）所 在 地 名寄市風連町仲町 8 6 番地（TEL 01655-3-2743）

（2）開設年月日 昭和 54 年 9 月 1 日

（3）利 用 案 内

・開館時間 午前 8 時 45 分～午後 5 時 30 分
～午後 9 時（夜間講座のみ）

・休 館 日 土・日曜日、国民の休日 ・年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）

◆生涯学習プログラムの整備と学習への支援

1 瑞生大学（高齢者事業）

講話、軽スポーツ、各種研修会、健康教室、農園づくり、クラブ活動等の講座で生涯学習を深める。

（1）学 生 数	大学 1 年生	18 人	大学 2 年生	5 人
	大学院 1 年生	4 人	大学院 2 年生	11 人
	研究生	76 人		

合 計 114 人（男 34 人、女 80 人）

（2）開 設 日 毎月 7・17・27 日を原則として開設

（3）学習講座（年間 30～35 講座）

みのりの風・まなびの風・ふれあいの風・やすらぎの風・おもいでの風

（4）クラブ活動

書道・フォークダンス・カラダン・パソコン・陶芸・パークゴルフ・茶華道

（5）異世代間交流

風連中央小学校との交流会

2 風連陶芸センター事業

児童、生徒、一般対象の陶芸教室、サークル活動の支援

- ・各小学校の体験教室（随時）
- ・サークル活動（毎月2回）・一般陶芸教室（毎月2回）
- ・瑞生大学陶芸クラブ活動（毎月2～3回）・各団体等の体験研修会（随時）

3 風連公民館事業

（1）会議の開催

- ・名寄市風連公民館運営審議会（年2回開催予定）
第1回目 7月4日 ・ 第2回目 2月下旬予定
- ・名寄市風連公民館分館長・主事会議（年2回以上開催予定）
第1回目 7月4日 ・ 第2回目 2月下旬予定

（2）風連公民館講座

- ◇白樺樹皮工芸教室 平成25年10月予定
- ◇料理教室 平成25年12月14日（土）予定
- ◇書き初め大会 平成26年1月11日（土）予定
- ◇アウトドア体験講座 平成26年2月予定

（3）ジャックの豆事業

市民5人以上で構成される自主的な学習グループ・サークルで、活動を組織化・活性化させるために必要な助成を行い、市民の生涯学習活動を促進する。

（4）花と緑のくらし事業

風連地区各小中学校への花の苗代等補助（分館活動拠点の美化）

（5）風連公民館分館活動の推進

（6）社会教育関係団体活動推進補助金（バス助成）

（7）関係団体に対する補助金

風連瑞生大学自治会 （270,000円）

風連公民館各分館（5分館）

旭分館 （238,000円） ・ 下多寄分館 （196,000円）

日進分館 （182,000円） ・ 東風連分館 （196,000円）

西風連分館 （224,000円）

II 豊かな地域文化の継承と創造

◆芸術文化振興事業

1 風連文化祭

市民が行っている各種文化活動について発表の場をつくることで、文化活動への参加意欲を高め、市民交流の中から文化の創造を促し、地域文化の発展及び市民生活の充実に資することを目的に開催する。

風連文化協会を中心とした実行委員会を組織して実施します。

◇芸能発表会 11月3日

◇作品展示等 11月2日～3日

- 2 関係団体に対する負担金・補助金
 - ・風連文化祭実行委員会 (200,000 円)
 - ・風連文化協会 (276,000 円)
 - ・風連御料太鼓保存会 (59,000 円)

Ⅲ 家庭教育の推進

◆家庭と地域の教育力の向上

- 1 親子の絆を深める場の提供
自然体験教室等の実施
- 2 企業等へ家庭教育に関する支援
風連地区企業へ「北海道家庭教育サポート企業制度」への加入を奨励

Ⅳ 生涯スポーツの振興

◆スポーツ施設の整備（施設概要については、P55 ～ P58 市内体育施設に記載）

スポーツ施設の整備と改修を計画的に行い、スポーツ活動を通じた交流、健康維持、増進を図る。

- 1 維持管理
 - ・風連地区（市直営）
名寄市風連 B & G 海洋センター、名寄市風連農村環境改善センター、名寄市風連東地区運動広場テニスコート、名寄市風連東地区運動広場パークゴルフ場、名寄市営風連球場、名寄市風連スキー場、風連サンシャインホールなど
- 2 施設整備
 - ・風連スキー場のリフト改修
 - ・風連球場へ整備用黒土を購入
 - ・農村環境改善センターの入口外ドアの改修
 - ・風連 B&G プールのコースロープの更新（2 本）
 - ・東地区簡易パークゴルフ場の整備
 - ・風連 B&G アリーナ・サンシャインホールアリーナの床ワックス塗布

◆スポーツ振興事業（事業計画については、P51 平成 25 年度スポーツ教室開催事業計画に記載）

生涯を通じて年齢や体力に応じたスポーツ活動を楽しみ、相互の交流、健康維持、増進の促進を図るため、スポーツクラブ「ポポ」等と共催した事業の実施。

- 1 各種スポーツ教室及び大会の支援
各種スポーツ教室の開催及び各種スポーツ大会に支援、協力します
- 2 関係団体に対する補助金等
スポーツ団体の育成・支援及び関係団体の経費を負担します
 - ・風連町体育協会補助金 (900,000 円)
 - ・風連町スポーツ少年団補助金 (240,000 円)
 - ・風連スポーツクラブ「ポポ」補助金 (650,000 円)
 - ・社会教育関係団体活動推進補助金
- 3 学校開放事業の推進

学校体育施設の開放事業を推進し、多くのスポーツ活動の場を提供します。

小学校（3校）風連中央小学校、風連下多寄小学校、東風連小学校

中学校（1校）風連中学校（グラウンドのみ）

4 総合型地域スポーツクラブの拡大

風連スポーツクラブ「ポポ」を支援・協力し、組織の拡大を促進します。

V 青少年の健全育成

◆青少年健全育成事業

1 少年の学習活動

都会っ子体験交流事業の推進

名寄市と東京都杉並区の異なる環境を持つ子ども達の交流を通して、人間性にあふれ意欲に満ちた子ども達の育成を図る。

小学生（4年生～6年生）杉並区25名、名寄市25名

名寄会場 7月28日～31日（3泊4日）・杉並会場 8月5日～8日（3泊4日）

2 関係団体に対する補助金等

・都会っ子体験交流実行委員会 （1,986,000円）



ふうれん地域交流センター「風っ子ホール」

4 名寄市智恵文公民館の事業計画

I 生涯学習機会の提供（主要施策）

◆文化活動拠点施設整備事業

【施設概要】

智恵文公民館（智恵文多目的研修センター）

- 1 所在地 名寄市字智恵文 4471、4191 番地（TEL 01654-8-2101）
- 2 開設年月日 昭和55年1月1日
- 3 主要施設
 - ・大集会室 264.0 m²
 - ・調理実習室 46.2 m²
 - ・研修室（老人室） 50.7 m²
 - ・和室 43.5 m²
 - ・図書閲覧室
 - ・研修室 43.5 m²
- 4 利用案内
 - ・開館時間 午前9時～午後10時
 - ・休館日 毎月末日（ただし、その日が土・日曜日又は国民の休日にあたる時はその前日）
年末年始（12月30日～1月5日）

◆生涯学習プログラムの整備と学習への支援

1 情報提供と相談体制の整備

◇広報誌「ちえぶん」の発行による情報提供

- ・毎月の地域情報、保育所・小学校・中学校の行事等を掲載し、地域へ発信

2 学習要求に応える公民館活動

（1）友朋学級（高齢者学級）の開講

地域の65歳以上の希望者を対象に、手工芸・講話・軽運動・地域の小中学校との交流などの講座を開催

（2）分館事業の支援

智北・八幡・智南の各分館において、主に農閑期に料理教室・手芸教室・レクリエーション大会などを実施（智西分館は平成25年度休館）

3 世代間交流の促進

◇オセロ・餅つき大会の実施

12月下旬予定

- ・地域の小中学生と高齢者がふれあい、日本の伝統文化を体験

II 豊かな地域文化の継承と創造（主要施策）

◆芸術文化振興事業

◇各種講座・教室などの開設と内容充実

- ・書道講座の開設

地域住民を対象に毎週木曜日

Ⅲ 家庭教育の推進（主要施策）

◆家庭と地域の教育力の向上

◇ 親子の絆を深める場の提供

・親子書き初めの実施

1月初旬予定

作品は一定期間智恵文多目的研修センターに展示

◆関係機関・団体とのネットワークづくり

◇家庭、学校、地域、関係機関、団体との事業連携

・趣味の作品展示会の開催

2月初旬予定

「ちえぶん健康まつり」の共催として、友朋学級や地域住民サークルなどが制作した手芸・陶芸・書道・写真などを展示

Ⅳ 生涯スポーツの振興（主要施策）

◆スポーツ振興事業

◇各種スポーツ大会の支援

・智恵文・名寄 歩くスキー交流会

2月初旬予定

Ⅴ 青少年の健全育成（主要施策）

◆青少年健全育成事業

◇子ども会活動の促進援助

・智恵文子ども会雪中運動会の共催

2月中旬予定

地域の小中学生が、雪中でのゲーム・スポーツを通して交流

5 スポーツ振興事業計画

◆生涯スポーツの振興

市民皆スポーツを目指し、生涯を通じて年齢や体力に応じたスポーツ活動を楽しみ、相互の交流を深め、健康の維持・増進が図られるようスポーツ施設の整備・改修や管理運営の充実に努めます。

スポーツ団体の育成、指導者の育成・確保、スポーツ教室・各種スポーツ大会の支援・充実などを体育協会、地域スポーツクラブと協力して進めるとともに、スポーツ情報の収集・提供に努めます。

1 スポーツ施設の整備

スポーツ施設の整備と改修を計画的に行い、スポーツ活動を通じた交流、健康維持・増進ができるよう施設の整備や効率的な利用の促進を図るとともに有効な利用方法を検討します。

(1) 維持管理

・名寄地区（指定管理者制度）

① 財団法人名寄市体育協会（9施設）

名寄市スポーツセンター、名寄市営球場、名寄市営サブ球場、名寄市テニスコート、名寄公園テニスコート、名寄市営南水泳プール、名寄市営智恵文水泳プール、名寄市B&G海洋センター、名寄市ピヤシリシャンツェ

② 株式会社名寄振興公社（1施設）

体育センターピヤシリ・フォレスト

※名寄市北体育館は、競技団体（名寄弓道会）の自主管理運営

(2) 施設整備

- ① 市営球場グラウンド等整備
- ② ピヤシリシャンツェ人工降雪機賃貸借（H20～26年迄）
- ③ ピヤシリシャンツェ競技システム借上
- ④ スポーツセンターバスケット用タイマー改修
- ⑤ クロスカントリー用コース整備機器購入
- ⑥ スポーツセンタートレーニング機器購入

2 スポーツ振興事業

(1) 各種スポーツ大会の開催及び支援

スポーツ大会の開催及び各種スポーツ大会を支援、協力します。

①	なよろ憲法記念ロードレース（主催）／5月12日	400千円
②	市民スキーの日（主催）／2月下旬～3月中旬	840千円
③	サンピラー国体開催記念サマージャンプ大会／7月下旬	585千円
④	名寄ピヤシリジャンプ大会（共催）／12月中旬	855千円
⑤	名寄ピヤシリ歩くスキー大会（共催）／3月2日	600千円
⑥	ピヤシリカップカーリング大会／3月下旬	50千円
⑦	クロスカントリー名寄大会／12月下旬	225千円
⑨	市民水泳大会／8月下旬	50千円
⑩	名寄あかげらロードレース／9月	90千円
⑪	北海道社会人卓球選手権大会／8月	300千円
⑫	高松宮賜杯全日本軟式野球北海道予選大会／8月	200千円
合計		4,195千円

(2) 関係団体に対する補助金等

スポーツ団体の育成・支援及び関係団体の経費を負担します。

① 名寄市体育協会補助金	3,000 千円
② プールパトロール補助金	250 千円
③ 市営スケートリンク設置負担金	1,750 千円
④ B & G 体験スポーツ大会参加負担金	300 千円
⑤ 北海道 B & G 海洋センター連絡協議会負担金	40 千円
⑥ 上川北部広域スポーツクラブ負担金	50 千円
⑦ 上川管内スポーツ推進委員協議会負担金	59 千円
⑧ 北体育館施設管理負担金	600 千円
合計	6,049 千円

(3) 学校開放事業の推進

学校体育施設の開放事業を推進し、多くのスポーツ活動の場を提供します。

- ① 名寄地区小学校（6校）：名寄小学校、名寄南小学校、名寄東小学校、名寄西小学校、
豊西小学校、智恵文小学校
- ② 名寄地区中学校（3校）：名寄中学校、名寄東中学校、智恵文中学校

(4) スポーツフェスティバル等の開催

スポーツフェスティバル等を開催し、新しいスポーツや軽スポーツなどの紹介・体験等を通じ、市民にスポーツ情報とスポーツに親しむ場を提供します。

(5) 総合型地域スポーツクラブの拡大

上川北部広域スポーツクラブ（中川町、音威子府村、美深町、名寄市、下川町5市町村 H21.12.21 設立）の活動を通じて、冬季スポーツにおける子どものタレント発掘・育成と交流を図ります。

(6) 指導者の育成強化

スポーツ推進委員や体育協会等と協力し、スポーツ人口の拡大を図るとともに、指導者の育成・確保を図ります。

(7) スポーツ合宿の誘致、受け入れ

交流人口の拡大と地域の活性化を図るために、陸上・サッカー・スキーなど、夏冬を通した円滑な受け入れに取り組んでまいります。

3 スポーツ教室

○平成25年度スポーツ教室開催事業計画

【名寄地区】

教 室 名	参 加 対 象	募 集 人 数	開 催 回 数
幼児水慣れ教室Ⅰ	未就学児	10名	3回
幼児水慣れ教室Ⅱ	未就学児	10名	3回
冬休みアルペンスキー教室	小 学 生	15名	5回
エアロビクス教室Ⅰ	一 般	15名	7回
エアロビクス教室Ⅱ	一 般	15名	7回
太極拳教室	一 般	15名	7回
親子運動教室	親 子	15名	7回
親子運動教室	親 子	15名	7回
ヨーガ教室Ⅰ	一 般	15名	7回
ヨーガ教室Ⅱ	一 般	15名	7回
ボクササイズ教室	一 般	15名	7回
スナックゴルフ教室	小 学 生	15名	5回
夜間水中エアロビクス教室	一 般	15名	7回
初心者ゴルフ教室	一 般	15名	7回
座禅教室	一 般	15名	3回
ズンバーゴールド教室	一 般	15名	3回
フロアストレッチバレエ教室	一 般	15名	3回
フラダンス教室	一 般	15名	3回
メタボ対策メタボクササイズ教室	一 般	15名	3回
やさしいボディメイクエクササイズ教室	一 般	15名	3回
合 計		290名	104回

【風連スポーツクラブ『ポポ』】

教 室 名	対 象	開設日数	募集人数
フラダンス教室	一 般	3	20
プールで水上スポーツ教室	小学生	1	15
ジュニア水泳教室	小学生	3	50
親子水遊び教室	親 子	2	10
クロスカントリー大会	小・中・高・一般	1	50
体力テスト	小・中・高・一般	1	100
幼児トランポリン教室	幼児	3	20
ジュニアトランポリン教室	小学生	4	20
ジュニアスキー教室	小学生	3	40
スキー場まつり	小・中・高・一般	1	100
合 計		22	425

○平成24年度スポーツ教室開催事業実績

【名寄地区】

教 室 名	開 設 時 期	開催回数	受講延人数	指導者延数
初心者ゴルフ教室	5月26日～ 7月15日	7	31名	14名
エアロビクス教室Ⅰ	5月28日～ 7月 9日	7	102名	7名
キッズエアロビクス教室Ⅰ	5月28日～ 7月 9日	7	67名	7名
太極拳教室Ⅰ	5月29日～ 7月10日	7	60名	7名
夜間水中エアロビクス教室	6月11日～ 7月30日	7	63名	7名
幼児水慣れ教室Ⅰ	6月25日～ 6月27日	3	29名	3名
幼児水慣れ教室Ⅱ	7月23日～ 7月25日	3	29名	3名
ヨーガ教室Ⅰ	8月17日～ 10月12日	7	107名	7名
太極拳教室Ⅱ	8月21日～ 10月 2日	7	45名	7名
エアロビクス教室Ⅱ	10月29日～ 12月10日	7	90名	7名
親子運動教室	10月29日～ 12月10日	7	90名	7名
ボクササイズ教室	11月 1日～ 12月13日	7	48名	7名
太極拳教室Ⅲ	11月 6日～12月18日	7	42名	7名
冬休みアルペンスキー教室	1月 8日～ 1月13日	6	77名	24名
ヨガ教室Ⅱ	1月25日～ 3月 8日	7	95名	7名
合 計		96回	975名	121名

【風連スポーツクラブ『ポポ』】

教 室 名	開 設 時 期	開催回数	受講延人数	指導者延数
プールで水上スポーツ教室	5月19日	1	12	5
ジュニア水泳教室	7月26・31日 8月7・9日	4	119	28
親子水遊び教室	7月15日・8月5日	2	30	5
フラダンス教室	9月5・12・19日	3	38	6
ヨガ教室	11月1・8・15・22日	4	52	4
ジュニアトランポリン教室	11月17・24日 12月1・8日	4	28	12
幼児トランポリン教室	1月20・27日 2月3日	3	96	18
ジュニアスキー教室	12月22日～12月24日	3	98	24
スケート教室	1月10日～1月11日	2	44	4
幼児基本運動教室	12月9・16日	2	18	6
合 計		28	535	112

4 平成24年度学校開放事業

○平成24年度学校体育施設開放事業利用状況

【名寄地区】

学 校 名	利用日数（日）			利用者数（人）			利用平均（人/1日）	
	24年度	23年度	前年比	24年度	23年度	前年比	24年度	23年度
名 寄 小 学 校	226	223	101%	5,496	5,300	104%	24.3	23.8
名 寄 南 小 学 校	262	250	105%	5,609	3,519	159%	21.4	14.1
名 寄 東 小 学 校	262	178	147%	2,702	2,016	134%	10.3	11.3
名 寄 西 小 学 校	308	302	102%	4,581	3,815	120%	14.9	12.6
豊 西 小 学 校	145	157	92%	1,788	2,273	79%	12.3	14.5
中 名 寄 小 学 校	0	0	0%	0	0	0%	0.0	0.0
智 恵 文 小 学 校	71	58	122%	1,680	1,050	160%	23.7	18.1
名 寄 中 学 校	247	264	94%	2,379	3,048	78%	9.6	11.5
名 寄 東 中 学 校	265	206	129%	4,292	3,728	115%	16.2	18.1
智 恵 文 中 学 校	11	7	157%	60	66	91%	5.5	9.4
大 学 本 館	0	0	0%	0	0	0%	0.0	0.0
合 計	1,797	1,645	109%	28,587	24,815	115%	15.9	15.1

【風連地区】

学 校 名	利用日数			利用人数			平均利用人数	
	24年度	23年度	前年比	24年度	23年度	前年比	24年度	23年度
風 連 中 央 小 学 校	226	210	108%	4,173	3,728	112%	18.5	17.8
風 連 下 多 寄 小 学 校	12	40	30%	138	365	38%	11.5	9.1
東 風 連 小 学 校	163	152	107%	1,392	1,553	90%	8.5	10.2
風 連 日 進 小 学 校	143	24	596%	1,447	222	652%	10.1	9.3
合 計	544	426	128%	7,150	5,868	122%	13.1	13.8

5 平成25年度各種大会開催予定

(1) 名寄市（教育委員会）が主催・主管する大会

大会名	主催・主管競技団体名	参加予定数	開催時期	会場
第61回なよろ憲法記念 ロードレース	名寄市教育委員会	500人	5月12日	なよろ健康の森 陸上競技場
第2回市民スキーの日	名寄市民スキー大会実行委員会 (名寄市・名寄市教育委員会・ 名寄地方スキー連盟・名寄振興公社)	150人	2月下旬	名寄ピヤシリスキー場

(2) 名寄市（教育委員会）と競技団体が共催する大会

大会名	主催・主管競技団体名	参加予定数	開催時期	会場
第43回名寄ピヤシリ ジャンプ大会	名寄地方スキー連盟 北海道新聞社	160人	12月	ピヤシリシャンツェ
第31回名寄ピヤシリ 歩くスキー大会	名寄歩くスキー協会	600人	3月	なよろ健康の森

(3) 関係競技団体が主催・主管する大会

大会名	主催・主管競技団体名	参加予定数	開催時期	会場
サンピラー国体記念 第11回サマージャンプ大会	名寄地方スキー連盟	130人	7月	ピヤシリシャンツェ
第29回あかげらロードレース	道北陸上競技協会名寄支部	100人	9月	なよろ健康の森 陸上競技場
平成25年度市民水泳大会	名寄水泳協会	80人	8月	市営南水泳プール
第19回クロスカントリー 名寄大会	名寄地方スキー連盟	425人	12月	なよろ健康の森
第26回ピヤシリカップ カーリング大会	名寄カーリング協会	80人	3月	サンピラー交流館 カーリングホール
第57回高松宮賜杯全日本軟式 野球北・北海道大会	名寄軟式野球連盟	500人	8月	名寄市営球場
北海道社会人卓球選手権大会兼 全日本予選会	名寄卓球協会	700人	8月	スポーツセンター

(4) 風連スポーツクラブ「ポポ」が主催する大会等

大会名	前年参加者数	開催月	会場
クロスカントリー大会	39人	9月	風連緑町公園
体力テスト	75人	10月	風連B&G海洋センター等
スキー場まつり	50人	2月	風連スキー場

6 市内体育施設

1 名寄市スポーツセンター

(1) 所在地 名寄市西7条南12丁目55番地134 (TEL 3-6627・3-6628 FAX 3-8671)

(2) 開設年月日 昭和50年4月1日
(平成5年増築)

(3) 主要施設 敷地面積 17,270 m²
建物 4,297.95 m²
鉄筋コンクリート一部鉄骨造り2階建
1階 3,234.52 m² 2階 1,063.43 m²

アリーナ 1,484.40 m² (42m×35m)

第1体育室 237.60 m² ロビー 264.30 m²

幼児体育室 91.20 m² 第2体育室 511.20 m²

研修室 70.40 m² シャワー更衣室 76.16 m²

事務室 73.41 m²

観覧席 (固定席 300人、立見席 300人、移動席 2,300人)

駐車場 350台 (172m×55m)

(4) スポーツ設備

バスケットボール	2面	バドミントンコート	10面
バレーボール (9人制)	2面	卓球コート	20台
〃 (6人制)	3面	テニスコート	2面
柔道	50畳×2面	トランポリン等体操用具	1式
体力測定器具	各種	トレーニング器具	各種

(5) 利用案内

開館時間 日曜日及び国民の祝日 午前9時～午後5時
上記以外の日 午前9時～午後9時

休館日 ①年末年始 (12月30日～1月5日)
②毎月末日 (但し、末日が土曜日・休日にあたる月は、その直近の日)

利用料 個人使用の時間帯区分を
午前 (9:00～12:30)
午後 (13:30～17:00)
夜間 (18:00～21:00)
の3段階とし、使用料を徴する。

2 その他施設（名寄地区）

施設名	所在地	開設年月日	構造及び規模	施設設備の概要	開設期間
名寄市北体育館	東1条 北6丁目	H元. 4. 1	木造モルタル一部2階建 1階 583.20㎡ 2階 87.48㎡ 670.68㎡	弓道場、研修室 更衣室、管理室	名寄弓道会 自主管理
名寄市B&G 海洋センター	西4条 北8丁目	H 2. 5. 31	上屋シート、夜間照明 プール（ステンレス製） 6コース 25m×13m 幼児用 10m×6m	事務室、医務室 更衣室、シャワー トイレ、機械室、 薬品室	5月中旬～ 10月下旬 有料
名寄市営 南水泳プール	西7条 南12丁目	S48. 8. 14 H19. 5. 19 (改修)	鉄筋コンクリート造 FRP製 6コース 25m×13m 幼児用 13m×4.5m	循環装置、更衣室 シャワー、事務室 ミーティングルーム 機械室、トイレ 照明施設、駐車場	5月中旬～ 10月下旬 有料
名寄市営 智恵文水泳プール	智恵文 11線 北2番地	S51. 10. 1 H 5. 6. 30 (改修) H24. 5. 15 (シート改修)	鉄筋コンクリート造 鋼鉄製上屋シート付 ビニールシート張 5コース 25m×11m (1コース幼児用)	管理棟、循環装置 更衣室、シャワー 管理人室、機械室 トイレ 照明施設 2基	6月中旬～ 9月下旬 有料
名寄市営球場	東2条 南11丁目	S42. 7. 1 S55. 11. 30 (改修) H 7. 11. 16 (改修)	敷地面積 17,216㎡ レフト・ライト 90m センター 110m メインスタンド 200人 内野スタンド 300人 外野芝生席 4,500人	バックネット 1基 ダッグアウト2カ所 スコアボード 1基 用具室 2カ所 役員室 1カ所 管理棟 1棟	5月上旬～ 10月下旬 有料
名寄市営サブ球場	緑丘	S50. 10. 1 S56. 11. 1 (改修)	敷地面積 13,200㎡ レフト・ライト 90m センター 110m	バックネット 1基 用具庫 1カ所	5月上旬～ 10月下旬
名寄公園 テニスコート	緑丘	S43. 11. 1 H 5. 9. 20 (改修)	グリーンサンドコート 2面	用具室、トイレ	5月上旬～ 11月上旬 有料
名寄市 テニスコート	西7条 南12丁目	S54. 10. 31 H16. 9. 1 H24. (改修)	グリーンサンドコート 4面 オムニコート 4面	管理棟、更衣室 トイレ 夜間照明施設 (H 3. 8. 15)	
ゲートボール場	西7条 南12丁目	H 2. 6. 28 H 8. (増設)	コート 18m×70m 6面		4月下旬～ 10月下旬
土俵	西7条 南12丁目	H 3. 8. 4	入母屋造り、銅板葺き		
カーリングリンク	日進 サンプラー 交流館内	H18. 11. 11	シート 5面		11月上旬～ 3月下旬

施設名	所在地	開設年月日	構造及び規模	施設設備の概要	開設期間
名寄 ピヤシリスキー場 S63. 6. 24 F I S 公認	日進	S48. 12. 29	面積 67. 05ha 駐車場 1, 000台収容 最高斜度 35度 平均斜度 18. 3度 全長 2, 000m	第1リフト 696m 第2リフト 406m 第3リフト 442m ロマンリフト 1, 395m ロッジ 116人収容 管理棟 1 パトロール詰所 1 児童生徒休憩所 1 無料休憩所 2	12月上旬～ 4月上旬
名寄市 ピヤシリシャンツェ ノーマルヒル K90 公認	日進91・ 97林班	H14. 10. 1	鉄筋コンクリート構造 アプローチ直線 斜度35度 ランディングバーン 最高斜度36. 5度	ジャッジハウス 2 スノーメイキング システム 夏冬兼用シングル リフト 224m (H5. 11. 24) 管理棟、トイレ	夏期間 4月下旬～ 10月上旬 冬期間 12月上旬～ 3月末日
名寄市 ピヤシリシャンツェ ミディアムヒル K65 公認	日進91・ 97林班	H 6. 11. 30	施設総面積 32, 444ha 鉄筋コンクリート構造 アプローチ直線 斜度30度 ランディングバーン 最高斜度35. 5度 全長 212. 5m アプローチ 62. 0m ランディングバーン 114. 8m アップヒル 52. 8m	サマー設備 機械室 1棟 パイプライン 268m バイオトイレ 1棟	
名寄市営 スケートリンク	西13条 南4丁目	S46. 12. 1	スピードリンク 1周250m、幅10m	管理棟（事務室） 休憩室 夜間照明	12月下旬～ 2月中旬
天塩川緑地	天塩川 左岸 天塩川 右岸	S57、S58 S56、S61 S60、S61 H元 S63 S63 H14	野球場（A・B） 2面 サッカー場、ラグビー場 ソフトボール場 4面 グランドゴルフ場18ホール サイクリングロード2. 2km ヘルスビートコース パークゴルフ場 18ホール		5月上旬～ 10月下旬
名寄川緑地	名寄川 左岸	S62 H 6	ゲートボールコート 2面 パークゴルフ場 18ホール		5月上旬～ 10月下旬
陸上競技場	日進 なよろ 健康の森	H 8. 5. 26	1周400mクレートラック	管理棟（事務室）	5月上旬～ 10月下旬
えんれい パークゴルフ場	日進 なよろ 健康の森	H 8. 5. 24	18ホール 1. 9ha		5月上旬～ 10月下旬
あかげら パークゴルフ場	日進 なよろ 健康の森	H12. 5. 16	18ホール 1. 9ha		有料
名寄公園 パークゴルフ場	緑丘17線	H14. 6. 8	18ホール 1. 1ha	管理棟、トイレ 駐車場 35台 駐輪場 20台	

(2) 風連地区

施 設 名	所 在 地	開設年月日	構造及び規模	施 設 設 備 の 概 要	開 設 期 間
名寄市風連スキー場	風連町 字西風連	S45	面積 77,146㎡ 最大斜度 17度 平均斜度 11度	ヒュッテ ミニリフト 300m	12月中旬 ～ 3月上旬
名寄市営風連球場	風連町 字中央	S54	球場面積 12,451㎡ レフト・ライト 90m センター 110m 収容人数 2,000人	バックネット1基 ダッグアウト2ヶ所 スコアボード1基 用具室4ヶ所 役員室1ヶ所 トイレ1ヶ所	5月1日 ～ 10月31日
名寄市風連東地区 運動広場テニス コート	風連町 新生町	S62	ハードコート 4面	夜間照明施設 用具室	5月1日 ～ 10月31日
名寄市風連東地区 運動広場パークゴ ルフ場	風連町 新生町	H13	9ホール 1.4ha		5月1日 ～ 10月31日
名寄市風連東地区 運動広場簡易パー クゴルフ場	風連町 新生町	H11 H22 H24	18ホール簡易整備 2.7ha 9ホール芝生化 9ホール芝生化		
名寄市風連B&G 海洋センター	風連町 新生町	H元	第1体育館 726.15㎡ 第2体育館 456.30㎡ プール 6コース 幼児用プール 69㎡	駐車場80台収容	
名寄市風連農村環 境改善センター	風連町 新生町	S59	多目的ホール 382.90㎡		
海洋クラブ艇庫	風連町 字池の上	H2	カヌー 7艇 ペアカヌー 2艇 ローボート 2艇 ヨット 4艇		
名寄市風連サン シャインホール	風連町 字旭	H5	アリーナ 441.98㎡		

7 名寄市児童センター

市民のこころ豊かな人づくりを目的に、名寄市児童センター及び風連児童会館では、児童が放課後等に遊びやスポーツに親しみ、各行事や体験活動を通して健康を増進し情操を豊かにする自由来館型の安全で安心な居場所として設置しています。

また、放課後児童対策として、保護者が就労等によって昼間家庭が留守になる環境にある児童の健全育成と安全な生活の場所を確保するため、名寄市南児童クラブ及び風連児童クラブを設置しています。

児童センターの施設面では、平成 23 年度に児童室の移設に伴う一部改修を行うことで、建物の主な機能として 1 階を児童センター、2 階を教育相談センターとして活用しています。

南児童クラブでは、平成 23 年度に増改築工事を行い、高学年・低学年の 2 クラス分けとして、管理運営上の安全を図っています。

風連児童会館及び風連児童クラブは、平成 23 年度から児童センターが所管し、施設面でも児童会館・児童クラブに分離し、それぞれの特性を生かした運営に努めています。

1 平成 25 年度基本目標

設置されている機関相互の特性を生かして、学校及び地域との連携を強化し、青少年の健全育成、子育て支援として子育て親子の利用を促進し、社会教育施設としての充実と利用しやすい環境の醸成に努めます。

2 平成 25 年度運営方針

児童センター・児童会館は、幼児（保護者同伴）・児童生徒が遊びやスポーツ、各種行事や体験活動を通して健康を増進し、情緒を豊かにする安全な居場所となるよう努めます。

児童クラブは、保護者が就労等によって昼間家庭が留守となる環境にある小学児童の健全育成と安全な生活の場所を確保し、保護者の仕事と子育ての両立を支援していきます。

3 平成 25 年度事業計画

月	児童センター	南児童クラブ	風連児童会館	風連児童クラブ
4	進級おめでとう会	◎毎月の行事	◎毎月の行事	◎児童会館の各種行事は
5	母の日プレゼント作り 一輪車教室 チャレンジデー参加	折り紙教室・工作教室 将棋教室 5月～10月 お誕生会	みるぶつく（読書・読み聞かせ） なわとび検定	一緒に連携して行う ◎季節の行事 バス遠足
6	父の日プレゼント作り	◎季節の行事	キャンディ（DVD鑑賞）	野外活動
7	七夕会・夏のお楽しみ会	新入生歓迎会	お誕生日会	陶芸教室
8	児童センターまつり	一輪車教室	◎季節の行事	親子料理教室
9	敬老の日プレゼント作り バス遠足	母の日プレゼント作り チャレンジデー参加	歓迎会 工作教室	新年お楽しみ会
10	ハロウィン ブレイクダンス教室	父の日プレゼント作り 七夕会・水遊び	作って遊ぼう レクリエーション	
11	児童将棋大会	社会見学・プール遊び	七夕まつり	
12	クリスマス・おもちゃつき会	バス遠足・秋の味覚祭り	児童会館まつり	
1	一輪車教室・正月遊び	ハロウィンお楽しみ会	クリスマス会	
2	まめまき・冬の外遊び	クリスマス会・習字体験	冬のお話会	
3	ひなまつり	節分行事・コマ回し大会	豆まきのつどい	
毎 月	本の読み聞かせ・工作教室 けん玉教室・DVD鑑賞	ひなまつり会 卒業・進級を祝う会	おひなまつり会 お別れ会	

4 施 設 概 要

【児童センター】

(1) 所 在 地 名寄市西 11 条北 2 丁目 (TEL・FAX : 01654-3-3465)

(2) 開設年月日 名寄市児童センター 平成 23 年 3 月 27 日
(愛称「ほっと 2 1」)

経緯 ・旧青少年会館 昭和 43 年 1 月 5 日 ・旧児童センター 平成 4 年 4 月 20 日
・旧働く婦人の家 昭和 48 年 1 月 20 日 ・旧女性児童センター 平成 16 年 4 月 1 日
・両施設を廊下で結合 昭和 52 年 8 月 (旧青少年会館 解体 平成 23 年 8 月 10 日)

(3) 主 要 施 設 ・ 延 床 面 積 915.24 m²
・ 1 階 589.21 m² ・ 2 階 326.03 m²

児 童 室 (集会室)	32.2 m ²	相 談 室	33.6 m ²
図書室	46.2 m ²	適応指導教室	33.6 m ²
調理室	50.4 m ²	適応指導教室 (和室)	67.2 m ²
ホール	84.62 m ²	会議室	32.2 m ²
体 育 室	236.52 m ²	講 習 室	67.2 m ²
事 務 室	50.4 m ²	2 階廊下他	92.23 m ²
1 階用具庫・トイレ他	88.87 m ²		

(4) 利 用 案 内

・開館時間 午前 9 時～午後 5 時
・休 館 日 日曜日・国民の祝日・年末年始 (12 月 31 日～1 月 5 日)

(5) 利 用 状 況 (単位 : 人)

◎児童センター 一般利用状況

年 度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
開設日数	2 9 2	2 9 4	3 0 5
延べ人数	1 4, 1 0 2	9, 5 9 5	1 5, 7 1 5

◎児童センター 放課後児童利用状況

年 度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
開設日数	2 9 2	2 9 4	2 9 5
延べ人数	3, 5 2 2	3, 4 6 7	3, 1 6 8

【風連児童会館】

(1) 所 在 地 名寄市風連町南町 84 番地の 1

(2) 開設年月日 昭和 50 年 12 月 1 日

(3) 主 要 施 設 ・床 面 積 899.40 m² ・児 童 室 47.00 m²
・資 料 室 30.50 m² ・図 書 館 風 連 分 館 155.52 m² (1 階)
・事 務 室 30.00 m² 222.8 m² (2 階)

(4) 利 用 案 内

・開館時間 (児童会館) 午前 9 時～午後 5 時
・休 館 日 日曜日、国民の祝日・年末年始 (12 月 30 日～1 月 5 日)

{ ・開館時間 (図書館風連分館) 午前 9 時 30 分～午後 5 時 (平日)、午前 9 時 30 分～午後 4 時 (土曜日)
・休 館 日 日曜日・国民の祝日・毎月末日・年末年始 (12 月 30 日～1 月 5 日)

(5) 利 用 状 況 (単位：人)

◎風連児童会館 放課後児童利用状況

年 度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
開設日数	2 9 2	2 9 5	2 9 3
延べ人数	6, 8 2 2	6, 4 6 6	6, 8 9 3

【南児童クラブ】

(1) 所 在 地 名寄市立名寄南小学校内 (名寄市西 6 条南 12 丁目)

(2) 開設年月日 平成 10 年 4 月 1 日

(3) 主 要 施 設 ・延 床 面 積 192.00 m²
・児 童 室 176 m²
・事 務 室 16 m²

(4) 利 用 案 内

・開館時間 平 日 下校時～午後 6 時 30 分

土曜日・長期休業日 午前 8 時 30 分～午後 6 時 30 分

・休 館 日 日曜日・国民の祝日・年末年始 (12 月 30 日～1 月 5 日)

(5) 利 用 状 況 (単位：人)

◎南児童クラブ (1・2 年生)

年 度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
開設日数	2 9 0	2 9 5	2 9 6
延べ人数	6, 1 0 1	9, 2 3 1	9, 6 5 1

◎南児童クラブ (3・4・5 年生)

年 度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
開設日数	2 9 0	2 9 5	2 9 6
延べ人数	4, 8 3 5	4, 4 4 9	4, 8 4 4

【風連児童クラブ】

(1) 所 在 地 名寄市風連町南町 85 番地の 2

(2) 開設年月日 平成 10 年 4 月 1 日

(3) 主 要 施 設 ・延 床 面 積 142.80 m²
・児 童 室 46 m²
・遊 戯 室 46 m²
・ト イ レ 他 50.8 m²

(4) 利 用 案 内

・開館時間 平 日 下校時～午後 6 時 30 分

土曜日・長期休業日 午前 8 時 30 分～午後 6 時 30 分

・休 館 日 日曜日・国民の祝日・年末年始 (12 月 30 日～1 月 5 日)

(5) 利 用 状 況 (単位：人)

◎風連児童クラブ

年 度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
開設日数	2 9 2	2 9 5	2 9 3
延べ人数	4, 2 7 9	3, 9 6 9	6, 0 4 2

8 名寄市青少年センター（名寄市児童センター内）

1 平成 25 年度活動方針

名寄市内の青少年の健全育成を目指し、日常的には巡視・指導活動を通して子どもの理解と非行の未然防止に努めます。各学校・警察署・青少年健全育成諸団体と連携を図り、地域住民の協力を得ながら見守り、声かけを組織的・計画的に推進していきます。

2 平成 25 年度活動内容

- ① 指導及び巡視（一般巡視、特別巡視、下校時に合わせた指導巡視）
- ② 広報活動と地域活動の推進（青少年健全育成標語の募集等）
- ③ 環境浄化運動（有害環境にかかる市内店舗立入調査・監視）
- ④ 指導員の研修（情報交換等）
- ⑤ 青少年表彰（市内在住の青少年で、顕著な功績があった団体、個人を表彰する）

3 平成 25 年度事業計画

月	事業	月	事業
4 月	・一般巡視 ・特別巡視	10 月	・青少年健全育成標語募集(小・中・高等学校) ・一般巡視
5 月	・名寄市青少年問題協議会 ・一般巡視	11 月	・全国青少年健全育成強調月間に連動した活動 ・合同研修会（センター指導員、名寄警察署補導員、保護司会） ・標語入選者表彰式・標語ポスター配布揭示 ・一般巡視
6 月	・青少年表彰推薦依頼（高校・大学・企業団体） ・名寄市青少年センター指導員研修会 ・一般巡視	12 月	・一般巡視
7 月	・北海道青少年健全育成条例に基づく立入調査 ・社会を明るくする運動（キャラバン隊参加） ・一般巡視	1 月	・冬休み特別巡視 ・一般巡視
8 月	・夏休み特別巡視（名寄・風連地区祭典会場） ・一般巡視	2 月	・名寄市青少年問題協議会 ・一般巡視
9 月	・青少年表彰選考委員会 ・青少年表彰式 ・一般巡視	3 月	・一般巡視

9 名寄市教育相談センター（名寄市児童センター内）

名寄市教育相談センターは、教育上の諸問題に対する指導、助言等を行うために設置しています。電話等により児童生徒やその保護者の相談に対応する「ハートダイヤル」の運営や不登校及びその傾向にある児童生徒に関して支援する「適応指導教室」を開設しています。

平成 23 年度からは、教育推進アドバイザー 1 名を配置して学校生活における問題への対応と教職員並びに関係機関との連携を図っています。

また、定期的（毎月第 2・第 4 木曜日）にセンターの夜間開放を行い、軽スポーツ・調理実習・季節の行事などでひきこもりの解消や相談に対応しています。

1 適応指導教室

不登校となった児童生徒に対し、適応指導教室への通室などにより、学校復帰や自立支援に向け、学習や多くの体験活動等の支援や指導を行っています。適応指導教室への通室は、学校への出席としてみなされます。

平成 24 年度入室者数（実人員）

小学生	中学生	合計
2	3	5

2 ハートダイヤル

「ハートダイヤル」は、いじめ・ひきこもり・不登校・落ち込み・イライラなど子供たちや保護者の多様化する悩みに対し、電話相談・面談を通して、その悩む心を和らげ自立する心を育むため開設しています。

	相 談 者								相 談 区 分															
	保護者	小学生	中学生	高校生	一般			合計	暴力行為・非行一般	いじめ	不登校	怠学	学業・進路問題	親子関係（含家庭環境）	異性関係	性にかかわる問題	生活一般	学校の対応（含教師関係）	健康問題	友人関係	育児・子育て	しつけ	その他	合計
					学校関係者	関連機関職員等	その他																	
電話	28	0	0	2	2	0	33	65	0	3	22	0	1	5	1	1	26	3	2	0	0	0	1	65
面談	50	8	11	88	13	2	1	173	0	5	129	0	6	1	1	0	2	1	1	3	0	0	1	150
全体数	78	8	11	90	15	2	34	238	0	8	151	0	7	6	2	1	28	4	3	3	0	0	2	215

・この他に電話・面談以外の相談活動や学校・家庭訪問等の訪問活動が 1 5 7 件

3 教育推進アドバイザー

- (1) いじめ・不登校・非行事項等に係わる情報の共有に関すること
- (2) 必要に応じた教職員等の面談やケース検討会議のコーディネート、学校への定期的訪問に関すること
- (3) 家庭や地域との連携～必要に応じた訪問や相談等に関すること
- (4) 教職員並びに関係機関との連携に関すること

10 名寄市北国博物館

北国博物館は、北海道の北部に位置し、寒冷・多雪な冬と年間の気温差が60度を超える寒暖差がある名寄市の自然と歴史に学び、その知恵を発展させて今後の暮らしに生かしていく拠点として設置されました。厳しい自然の中で育まれてきた先人の知恵を体験しながら、学び伝承するとともに、マイナスイメージの強かった「北国」のイメージを楽しみや親しむ心を持って、プラス志向で新しい北国文化を創造していくことを運営の指針としております。

1 平成 25 年度重点目標

○「名寄の自然と風景」「名寄の歴史を学ぶ」をテーマとした展示会の開催

月	展示会	観察会	その他
4	及川幸雄絵画展 野外植物展		GW企画「博物館で遊ぼう」
5	道北の野鳥写真展	ニホンザリガニを探そう	
6	鉱物の世界（上手コレクション）	ピヤシリ山ハイキング 初夏の自然観察探訪会	ランプシェードづくり
7	「風花」作品展 名寄の米づくり（もち米） 特別展	松山湿原・仁宇布滝めぐり	
8	レコード展	夏休み親子で史跡めぐり	
9	きのこ写真展	きのこ観察会 やまべ釣り・サケ遡上見学	
10	堀田清写真展	親子ダッチオープン料理	堀田清スライドトーク
11	懐かしの学び舎	キャンドルづくり	北国講演会（アイヌ関係） しめ縄・ぞうりづくり
12	北海道開拓記念館 巡回展	アクリルアクセサリーづくり	お正月しめ飾りづくり 冬の室内遊び
1	九度山と道北の山々 特別展	冬休み子供理科実験教室 森のたんけん隊 2014 冬	
2	三宅章 水彩画展 雛人形展		雪あかりコンサート
3	棚橋美術教室 新着資料展	体験教室 雪と遊ぼう	

3 常設展示内容（面積：570㎡）

<テーマ>

北海道の北部に位置し、多雪・寒冷そして明瞭な四季の変化のある「名寄」で繰り広げられてきた自然と歴史について学び、未来へその知恵を継承発展させる。

○北国名寄・・・・・・・・・どうして多雪・寒冷なのか

○北の先史・・・・・・・・・氷河期後の人間の暮らし

○カムイの森・・・・・・・・・冬の森を通してみたアイヌの自然と文化

○さむさ・ひと・くらし・・・生活資料からたどる雪・寒さとの関わりあいの歴史

○映像コーナー・・・・・・3面マルチスクリーンによる細氷現象を中心とした北国の四季の移ろいの上映と名寄市の花・鳥・木や指定文化財を紹介する情報検索など

○郷土コーナー・・・・・・国指定天然記念物「鈴石」「高師小僧」、アイヌの伝承者「北風磯吉」、名寄が生んだ名力士「名寄岩」

4 資料保有数

区 分	地 学	生 物	考 古	民 族	生 活	産 業	文献記録	合 計
H22末保有数	4,274	2,781	84,238	526	10,343	12,470	7,086	121,718
H23末保有数	4,307	2,781	84,238	526	10,378	12,501	7,121	121,852
H24末保有数	4,307	2,781	84,238	526	10,447	12,529	7,184	122,012

5 北国博物館施設概要

（1）所 在 地 名寄市字緑丘 222 番地（TEL 兼 FAX 3-2575）

（2）開館年月日 平成 8 年 2 月 10 日

（3）主 要 施 設

延 床 面 積 2,099 ㎡（1 階 1,655 ㎡・2 階 444 ㎡）

1 階

エントランスホール 114㎡

ギャラリーホール 154 ㎡

第 1 収蔵庫 60 ㎡

第 2 収蔵庫 177 ㎡

常設展示室 570 ㎡

2 階

地域情報室 72 ㎡

講 堂 107 ㎡

書 庫 42 ㎡

研 究 室 130 ㎡

6 利用案内

開 館 時 間 午前 9 時～午後 5 時

休 館 日 毎週月曜日・年末年始

観 覧 料

常設展	区 分	小中学生	高校生以上	特別展	区 分	小中学生	高校生以上
	個 人	無 料	200 円		個 人	その都度市長が定める額	
	団 体		100 円		団 体		

※ 団体は 10 名以上

7 資料受入状況

年 度	寄 贈		採 集		収 集 (購入)		計 (点数)
	件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数	
20	46	1,076	0	0	0	0	1,076
21	31	5,810	0	0	0	0	5,810
22	30	3,294	0	0	1	8	3,302
23	27	222	0	0	0	0	222
24	26	160	0	0	0	0	160

8 施設利用状況

年度	個 人			団 体			行事、他	利用者
	幼中小	高校・一般	免 除	団 体	見学学校等	視 察	人数	総 計
20	1,024	1,494	363	185	540	90	8,494	12,190
21	1,195	1,509	465	167	400	204	9,417	13,357
22	1,046	1,649	404	351	655	51	8,058	12,214
23	1,233	1,496	288	311	678	99	8,811	12,916
24	854	1,492	352	181	616	90	8,636	12,221

9 文化財一覧

(1) 国指定文化財

名称	所在地	指定面積	指定年月日	説明
天然記念物 名寄鈴石	緑丘109-4	40a	昭和14年 9月7日	核となる粘土などに鉄分が殻のように巻き付いてできた褐鉄鉱の一種。拳ほどの大きさで、振ると音がするので「鈴石」と呼ばれる。
天然記念物 名寄高師小僧	瑞穂	23a	昭和14年 9月7日	湿地に生育する植物の根などに鉄分が巻き付いてできた沼鉄鉱の一種。管状の形が多い。愛知県豊橋市高師ヶ原に多産。
名勝 九度山 (クツヌブアリ)	日進・ 智恵文	522a	平成21年 7月23日	アイヌの人たちに祈りの山として伝承され、現在も市民に親しまれるアイヌ文化の景勝地。

(2) 市指定文化財

指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第1号	風連獅子舞	無形文化財	瑞生下多寄神社	平成18年3月27日
説明	下多寄地区は明治36年頃より富山県からの移住者が多い。その関係で富山県東砺波郡井波町から獅子舞一式を持ち帰り、明治41年8月に神社創建新築落成を記念して奉納された。現在も「風連獅子舞保存会」により郷土芸能として受け継がれている。			
指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第2号	グイマツ	天然記念物	東風連3395番地	平成18年3月27日
説明	大正2年頃、東風連の神野熊十郎が敷地内に植樹していたもので、大正9年水田への転換を記念して十数本を東風連小学校に寄贈した。うち1本が昭和8年の校舎改築記念樹として北玄関前に移植され大きく生育している。			

指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第3号	名寄教会会堂	有形文化財	大通南2丁目	平成18年3月27日
説明	明治42年に建てられた現存する市内最古の洋風建築物である。会堂の建築は、小北木工場を営んでいた小北・西田家をはじめとするキリスト教信徒の寄付が支えとなった。建物正面の直線的な切妻破風と上部が丸い縦長窓が、洋風の印象を与えている。内部の長椅子は材を丸ごと利用している。			
指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第4号	ミズナラ林	記念物	名寄公園	平成18年3月27日
説明	名寄公園を中心としたミズナラ林は、周辺を含め約10haにわたり1200本あまりが生育する。平均直径は約50cmで、樹齢は100年～150年と推定され、ほぼ純林的な林相をなしている。			

名寄市風連歴史民俗資料館

1 常設展示内容

<テーマ>

北限の農業 ～未開の大地と寒冷地農業への挑戦～
天塩とフーレベツの流れのなかで

1 階

- エントランス・ロビーには樹齢400年以上のイタヤカエデの巨木（高さ16m太さ3m重さ6トン）が展示してあります。
- 一階展示室には風連の自然と人・古代の生活・未開の大地と寒冷地農業への挑戦・ふえる人口と町の発展・学校と子どもたち・便利になった毎日・今風連はと7つのテーマがあり、各テーマにあった展示がされています。その他に風連獅子舞などの展示コーナーがあります。

2 階

- 収蔵展示室には昔のくらしを家の内・外観など昔の色々なものを展示しています。

2 入館者数

区 分	開設日	小学生	中学生	高校生	一 般	合 計
20年度	17	113	0人	0人	171人	284人
21年度	14	156	0人	0人	36人	192人
22年度	9	32	0人	0人	14人	46人
23年度	29	33	0人	0人	50人	83人
24年度	35	130	0人	0人	140人	270人

3 風連歴史民俗資料館概要

- (1) 所 在 地 名寄市風連町南町85番地2
(受付は風連公民館 TEL 01655-3-2531 FAX 01655-3-2321)
- (2) 開館年月日 平成2年4月1日
- (3) 主要施設

延床面積 645.76 m² (1階 258.635 m² 2階 387.125 m²)

1 階

エントランス・ロビー 59.163 m²
常設展示室 176.750 m²
収 蔵 庫 55.980 m²

2 階

特別展示室 102.750 m²
収蔵展示室 78.006 m²

- (4) 資料保有数 (平成24年度) 12,435点

4 利用案内

開館時間 午前9時～午後5時 休館日 土・日曜日、祝日、年末年始
観覧料 無 料

1 1 市立名寄図書館

1 平成25年度運営方針

市民の最も身近な学習活動を支援する教育施設として、利用者ニーズに即応した図書館機能の充実に努め、学習権の保障と資料並びに書誌情報の提供及び子どもの読書活動の推進を図ります。

2 平成 25 年度事業計画

(1) 図書館奉仕業務

事業区分	事業内容
蔵書の充実	蔵書の更新整備、資料の収集と迅速な提供、児童図書 of 充実によるサービスの向上
移動図書館	自動車文庫「やまゆり号」の巡回による市内全域へのサービスの充実 ・巡回：名寄地区 26・風連地区 5 合計 31 ステーション (名寄地区 26 の内 13 ステーションは月 2 回、4 月から 12 月運行) ・配本：名寄地区 4・風連地区 3 合計 7 ケ所(拘置所、遠隔地の保育所他) ・遠隔地の小中学校巡回時に、「読み聞かせ」を実施：各学校年 1～2 回 (名寄本読み聞かせ会、風連読み聞かせの会の協力)
障がい者支援	録音図書：ボランティア団体「声の図書会」との連携。図書の宅配
情報の収集・提供	レファレンスサービス・相互貸借の充実 ・北海道立図書館や市町村立図書館と連携し、図書館情報の収集・提供を図ると共に、図書資料の相互貸借により、利用者へ広範な資料提供を図る。 ・インターネット及び国立国会図書館や北海道立図書館のネットワークの活用を図る。 ・図書館ホームページ、市広報、FM放送等により利用情報を提供する。 発信情報内容：利用案内・蔵書検索・新着図書・雑誌案内・行事案内等

(2) 読書普及活動

① 子どもの読書普及

図書館ボランティア、幼児施設や学校等との連携推進を図り、子ども読書の推進を実施する。

- ・「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」にちなんだ行事の開催
- ・名寄本館での行事開催
 - 幼児、児童、保護者を対象とした行事の定期開催（おはなしクラブ、ペンギンクラブ）
 - 夏休み、冬休みの行事や司書体験、図書館まつり等の開催
- ・風連分館での行事開催
 - 幼児、児童、保護者を対象とした行事の定期開催（おはなしポケット、おはなしタイム）
 - 季節毎（春夏秋冬）のおはなし会、司書体験等の開催
- ・読み聞かせ研修会の開催
- ・学校専用図書の貸出開始
 - ・読書感想文コンクールの実施
- ・名寄市内学校図書室、市立名寄図書館担当者会議の開催
 - ・子ども読書活動推進計画に基づく普及促進（第 2 次計画の実施）

② 一般向け読書の普及

図書館ボランティア等との連携を図り、市民から好評を得ている行事の開催や、図書館利用の促進及び読書普及のため、事業を企画実施する。

- ・ミニ展示コーナー（季節や話題をテーマとした本の展示） 随時開催
- ・古典文学講座「テーマ未定」 9～10 月開催予定
- ・雑誌リサイクル 11 月 3 日（文化の日）
- ・名寄市民文化講演会の開催（主催：実行委員会）

3 分類別蔵書冊数

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

区 分	総 記	哲 学	歴 史	社会学	自然科学	技 術	産 業	芸 術
名寄本館	3,847	2,670	6,785	13,549	5,567	6,712	2,926	7,323
風連分館	651	463	1,325	1,993	673	1,085	501	1,177
合 計	4,498	3,133	8,110	15,542	6,240	7,797	3,427	8,500

区 分	言 語	文 学	参 考	大活字	児 童	大型絵本	紙芝居	合 計
名寄本館	1,075	33,840	5,214	283	30,583	68	911	121,353
風連分館	99	12,050	833	87	9,704	30	734	31,405
合 計	1,174	45,890	6,047	370	40,287	98	1,645	152,758

4 市立名寄図書館施設概要

(1) 所 在 地 名寄市大通南 2 丁目 (TEL 2-4751 FAX 2-4897)

(2) 開設年月日 昭和 45 年 8 月 1 日

(3) 各 室 案 内

延床面積 1, 6 8 3 m² (1 階:591 m² 2 階:648 m² 3 階:379 m² 4 階:65 m²)

<u>1</u> 階	<u>2</u> 階	<u>3</u> 階	<u>4</u> 階
閱 覧 室	会 議 室	国際親善メモリアルホール	資料収納庫
新 聞 庫	北海道・名寄コーナー	学 習 室	
児 童 室	保存用閉架書庫		

※風連分館の施設概要はP60「7 名寄市児童センター 4 施設概要 【風連児童会館】」に掲載

5 利用案内

- (1) 本 館
- ①開 館 日 通常開館 火曜日～金曜日 9 時 30 分～17 時
 休日開館 土曜日・日曜日 9 時 30 分～16 時
 夜間開館 水曜日・木曜日 17 時 ～20 時
- ②特別開館日 1 1 月 3 日 (文化の日)
- ③休 館 日 月曜日・毎月月末日・祝日・年末年始・特別整理日
- (2) 風連分館
- ①開 館 日 通常開館 月曜日～金曜日 9 時 30 分～17 時
 休日開館 土曜日 9 時 30 分～16 時
- ②特別開館日 1 1 月 3 日 (文化の日)
- ③休 館 日 日曜日・毎月月末日・祝日・年末年始・特別整理日

12 なよろ市立天文台

1 平成 25 年度運営方針

地域の天文同好者・天体観測関係機関との連携を深め、天体観測並びに研究活動を通じ、市民への天文知識の普及と青少年に対する理科学教育の振興を図る。

2 平成 25 年度事業計画

(1) 天文普及事業

- ・ 通常の直接観望（なよろ市立天文台）
- ・ 特別観望会（12 回開催予定、その他新天体が出現時等に随時実施）
- ・ 天文教室（天文講座の開催、その他小中学校・一般団体の開催依頼は別途受付）
- ・ 移動式天文台車ポラリスⅡ号による出前観望会の実施
- ・ インターネット「なよろ市立天文台ホームページ」による情報提供
- ・ インターネットTV「きたすばるどっとこむ」放送による情報発信

(2) プラネタリウム

- ・ 季節の星空解説
- ・ プログラム番組の投影
- ・ 学習・団体投影（学校・幼稚園・各団体）

(3) 調査・研究

- ・ 観測情報の収集（天体撮影・ビデオ収録）
- ・ 研究観測（太陽黒点・超新星の搜索・小惑星による恒星食）
- ・ 北海道大学大学院と連携した研究・観測

名寄市と北海道大学大学院理学研究科は、平成 17 年度に相互協力協定を締結
160 cm 光学赤外望遠鏡（北大設置）一般公開

(4) その他企画

- ・ きたすばる星と音楽の集い
- ・ 小学生による小惑星発見プロジェクト
- ・ 星と音楽の融合をテーマにした音楽イベントの開催

3 なよろ市立天文台施設概要

- (1) 所在地 名寄市字日進 157 番地 1 (TEL 2-3956 FAX 2-0267)

e-mail kitasubaru@nayoro-star.jp URL <http://www.nayoro-star.jp>

- (2) 開設年月日 平成 22 年 4 月 17 日

- (3) 主要施設 建物面積 1036.75 m²

施設内容 プラネタリウム、屋上観測室、観測室、レクチャールーム、企画展示コーナー、事務室、応接会議室、更衣休憩室

機器 160 cm 光学赤外望遠鏡（愛称ピリカ：北大設置）
50 cm カセグレン望遠鏡、40 cm カセグレン望遠鏡

4 利用案内

- (1) 開館時間：火曜日～日曜日、祝日 13時～21時30分(4月～10月)
13時～20時00分(11月～3月)
- (2) 休館日：月曜日・祝日直後の休館日でない日
- (3) 入館料：高校生未満、障害者とその介助者、70歳以上は無料
- ・観覧料
大人 400円 大学生 300円 高校生以下 無料
団体料金(10名以上) 大人 300円 大学生 200円
年間パスポート 大人 1,200円 大学生 1,000円
 - ・入館料
無料
- (4) 施設利用料
- ・望遠鏡
スライディングルーフ内望遠鏡 口径50cm、口径40cm 望遠鏡、EM-500(各種鏡筒)、MS-5(各種鏡筒) 一晚3,000円
移動式望遠鏡 各種一晚 500円
 - ・部屋
レクチャールーム Aタイプ(約100人収容) 1時間 400円
Bタイプ(約50人収容) 1時間 200円
プラネタリウム占有利用 (常設席50席) 30分 200円
研究室一室 (一晚) 2,500円



1 審議会・委員会

◎会長、委員長

○副会長、副委員長

(平成25年5月1日現在)

育英奨学審議委員会 (任期 ～26. 3. 31)

白井慶子 (学識経験者)
土肥哲哉 (教育関係者)
丸山年民 (")

古瀬登美子
関根智子
笹原博幸

(学識経験者)
(民生委員)
(")

就学指導委員会 (任期 ～26. 3. 31)

室野晃一 (医師)
大友由紀子 (学識経験者)
糸田尚史 (")
馬場信明 (関係教育機関)
塚澤栄一 (")
染木圭男 (")
松井清隆 (")
山谷昇一 (")
谷菊池ゆかり (")
高原寛子 (")
斎藤俊浩 (")
半澤雅宏 (")
安彦修子 (")
天野町子 (")
佐竹瑛次子 (")
坂井恭子 (")

久保美穂
野田有希子
小林立美菜
町田みどり
山崎省三司
山田裕司
和野亜佑美
宮崎望
大谷和範
坪加和紀
越柳恭代
高智千恵子
吉谷良子
渡邊川郁子
佳

(関係教育機関)
(")
(")
(")
(")
(")
(")
(")
(")
(")
(")
(")
(福祉関係)
(")
(")
(行政機関)

学校給食センター運営委員会 (任期 ～26. 3. 31)

◎山崎眞由美 (学識経験者)
○中村耕司 (PTA)
○黒川清子 (学識経験者)
長谷部幸也 (")
川田和瞳 (")
山上一啓 (")
田村啓一 (学校長)
鷹合勇 (")

松井清隆
澤田重和一
山本昇佳子
佐藤和恵美
塩田千恵一
湯川孝真
鈴木真理理

(学校長)
(")
(")
(PTA)
(")
(")
(")
(")

社会教育委員の会 (任期 ～26. 3. 31)

◎大坂祐二 (学識経験者)
○宮澤好輝 (社会教育)
○宮本幸子 (学識経験者)
塚澤栄一 (学校教育)
山本一一 (")
丸山年民 (")
湯川孝一郎 (社会教育)
若槻五郎 (")
山崎巧繕 (")

早川正一
中秋村洋一
松山優
宮崎敬
新井田絹
上崎里
橋本正
吉田征

(学識経験者)
(")
(")
(")
(")
(")
(")
(")
(家庭教育)

生涯学習推進アドバイザー

中村栄 又村靖子

蓑輪千恵

渡静恵

名寄市教育振興審議委員会

藤 平 民 世	(文 化 団 体)	竹 内 利 行	(学 識 経 験 者)
佐 藤 時 男	(")	笠 井 信	(")
水 島 寿 昌	(ス ポ ー ツ 団 体)	湯 川 孝 一	(")
菊 地 弘 美	(")		

名寄市公民館運営審議会及び市民文化センター運営委員会

並びに多目的研修センター運営委員 (任期 ～26. 3. 31)

◎ 室 篤 宏	(学 校 教 育)	島 影 道 子	(社 会 教 育)
○ 池 田 俊 行	(学 識 経 験 者)	室 資 祁 子	(")
小 西 信 輝	(学 校 教 育)	鈴 木 裕	(学 識 経 験 者)
田 邊 孝 次	(")	沼 澤 広 視	(")
竹 田 拓 二	(社 会 教 育)	矢 吹 祐 子	(")

名寄市風連公民館運営審議会並びにふうれん地域交流センター運営委員 (任期 ～26. 3. 31)

◎ 山 下 則 之	(学 識 経 験 者)	寺 田 仁 志	(学 識 経 験 者)
葦 澤 美 智 子	(学 校 教 育)	齋 藤 仁 司	(")
山 本 昇 一	(")	林 秀 典	(")
松 樹 恒 史	(学 識 経 験 者)	佐 藤 富 雄	(")

名寄市児童館運営委員会 (任期 25. 4. 1～27. 3. 31)

◎ 小 西 信 輝	(教 育 関 係 者)	阿 部 かおり	(利 用 保 護 者)
○ 佐 藤 ヒデ子	(利 用 保 護 者)	沼 田 ともえ	(")
染 木 圭 男	(教 育 関 係 者)	山 田 千 早	(")
高 見 勉	(学 識 経 験 者)	藤 垣 さおり	(")
山 崎 巧 繕	(")	柳 谷 千恵子	(学 識 経 験 者)

名寄市児童クラブ運営委員 (任期 25. 4. 1～27. 3. 31)

◎ 小 西 信 輝	(教 育 関 係 者)	阿 部 かおり	(利 用 保 護 者)
○ 佐 藤 ヒデ子	(利 用 保 護 者)	沼 田 ともえ	(")
染 木 圭 男	(教 育 関 係 者)	山 田 千 早	(")
高 見 勉	(学 識 経 験 者)	藤 垣 さおり	(")
山 崎 巧 繕	(")	柳 谷 千恵子	(学 識 経 験 者)

名寄市青少年問題協議会委員 (任期 ～26. 3. 31)

◎ 加 藤 剛 士	(関 係 行 政 機 関)	檜 山 秀 明	(学 識 経 験 者)
○ 藤 田 健 慈	(学 識 経 験 者)	松 井 清 隆	(")
○ 田 中 多 喜 子	(")	土 肥 哲 哉	(")
小 野 浩 一	(関 係 行 政 機 関)	田 邊 孝 次	(")
渡 邊 政 人	(")	宮 澤 好 輝	(")
三 国 和 子	(学 識 経 験 者)	宮 本 幸 子	(")
澤 田 重 和	(")	吉 原 敦 子	(関 係 行 政 機 関)

名寄市博物館協議会 (任期 ～26. 3. 31)

◎ 山 中 政 信	(学 識 経 験 者)	佐 藤 源 嗣	(学 識 経 験 者)
○ 又 村 秀 浩	(")	中 島 真	(")
馬 場 信 明	(")	小 林 宏	(")
谷 井 八 重 子	(")		

名寄市文化財審議会（任期 ～26. 3. 31）

◎ 山中 政 信 （学 識 経 験 者）
 ○ 又 村 秀 浩 （ " ）
 馬 場 信 明 （ " ）
 谷 井 八 重子 （ " ）

佐 藤 源 嗣 （学 識 経 験 者）
 小 島 真 美 （ " ）
 林 宏 宏 （ " ）

名寄市図書館協議会（任期 ～26. 3. 31）

◎ 松 下 一 也 （学 識 経 験 者）
 ○ 田 村 悦 子 （ " ）
 田 村 啓 一 （学 校 教 育）
 工 藤 久 美子 （学 識 経 験 者）

倉 本 邦 子 （学 識 経 験 者）
 益 塚 代 美子 （ " ）
 加 藤 紀 子 （幼 稚 園 代 表）

名寄市スポーツ推進委員（任期 ～26. 3. 31）

◎ 安 達 啓 治 （学 識 経 験 者）
 ○ 名 越 隆 治 （ " ）
 日 光 美 千代 （ " ）
 川 村 茂 樹 （ " ）
 井 元 和 正 （ " ）
 高 橋 浩 一 （ " ）
 上 野 敬 典 （ " ）
 杉 野 敦 敦 （ " ）

中 尾 肖 嗣 （学 識 経 験 者）
 大 野 洋 子 （ " ）
 塗 士 裕 子 （ " ）
 横 山 みゆき （ " ）
 杉 本 周 子 （ " ）
 百 武 子 学 （ " ）
 平 間 大 介 （ " ）
 山 田 由 紀 （ " ）

名寄市スポーツ推進審議会（任期 ～26. 3. 31）

◎ 熊 谷 守 （学 識 経 験 者）
 ○ 関 朋 昭 （ " ）
 塚 澤 栄 一 （ " ）
 遠 藤 光 博 （ " ）
 佐 藤 時 男 （ " ）
 安 澤 豊 （ " ）
 石 原 祥 子 （ " ）

河 本 宏 明 （学 識 経 験 者）
 柿 川 美 智子 （ " ）
 和 久 朋 行 （ " ）
 奥 田 政 章 （ " ）
 藤 井 晶 美 （ " ）

なよろ市立天文台運営委員会（任期 ～26. 3. 31）

◎ 播 本 雅 津子 （学 識 経 験 者）
 ○ 小 山 均 （社 会 教 育）
 大 谷 秀 二 （学 識 経 験 者）

高 橋 直 樹 （社 会 教 育）
 小 西 信 輝 （学 校 教 育）
 高 谷 恵 美子 （学 識 経 験 者）

2 旧名寄市教育の沿革

年 代	西 暦	特 記 事 項
寛政10. 7. *	1798	幕府の属僚3名天塩川を遡り見聞す
明治 5.10. 8	1872	上川地方（名寄）の実情調査さる。宗谷支庁佐藤正克技師
30. 6. 1	1897	上名寄村（現名寄市）の称号を得る。
35. 9. 1	1902	3村戸長役場庁舎新築落成開庁（大通1丁目）
9.15		上名寄簡易教育所開設（M37 上名寄尋常小学校、M39 名寄尋常高等小学校、S16 名寄国民学校、S22 名寄小学校 と改称）教育の嚆矢である
36. 4. 8	1903	チェブン簡易教育所開設（M37 智恵文簡易教育所、M41 智恵文尋常小学校、T7 智恵文尋常高等小学校、S16 智恵文国民学校、S22 智恵文小学校 と改称）
37. 7. *	1904	曙簡易教育所開設（M41 曙尋常小学校、S16 曙国民学校、S22 曙小学校 と改称）
38. 7. 1	1905	上名寄五線簡易教育所開設（M41 上名寄五線教育所、M43 上名寄五線尋常小学校、T9 中名寄尋常小学校、S16 日彰国民学校、S22 日彰小学校、S24 中名寄小学校 と改称）
39. 4. *	1906	有利里簡易教育所開設（M41 有利里教育所、T6 有利里尋常小学校、S16 瑞穂国民学校、S22 瑞穂小学校 と改称）
6.20		十八線簡易教育所開設（M41 十八線教育所、T6 十八線尋常小学校、S16 共和国国民学校、S22 共和小学校 と改称）
42. 1.17	1909	曙尋常小学校所属ハッチャシナイ特別教授場開設（M43 初茶志内教育所、T6 初茶志内尋常小学校、S16 弥生国民学校、S22 弥生小学校 と改称）
5.28		智南教育所開設（T6 智南尋常小学校、S16 智南国民学校、S22 智南小学校 と改称）
43.12.12	1910	智東教育所開設（T6 智東尋常小学校、S16 智東国民学校、S22 智東小学校 と改称）
大正 5. 4. 1	1916	智恵文尋常小学校所属智北特別教授場開設（T7 智恵文尋常高等小学校智北特別教授場、T13 智北尋常小学校、S16 智北国民学校、S22 智北小学校 と改称）
6. 1		名寄尋常高等小学校日進分教場開設（S16 名寄国民学校日進分教場、S22 名寄小学校日進分校、S32 日進小学校 と改称）
7. 4. 1	1918	名寄尋常高等小学校内淵特別教授場開設（T11 名寄尋常高等小学校内淵分教場、S16 名寄国民学校内淵分教場、S22 名寄小学校内淵分校 と改称）
4. 1		智東尋常小学校所属上智恵文特別教授場開設
8. 7.15	1919	智恵文尋常高等小学校所属智西特別教授場開設（T13 智西尋常小学校、S16 智西国民学校、S22 智西小学校 と改称）
9. 6.28	1920	名寄女子職業学校開校
11. 4. 1	1922	北海道庁立名寄中学校開校（S22 北海道立名寄中学校、S23 北海道立名寄高等学校、S25 北海道名寄高等学校 と改称）
7. *		名寄教会幼稚園開設（現 名寄幼稚園）
13. *. *	1924	智東尋常小学校所属上智恵文特別教授場廃止、本校に統合
9. 4		名寄南尋常小学校開校（S16 名寄国民学校、S22 名寄南小学校 と改称）
10.16		智南尋常小学校校舎全焼
14.11. 1	1925	智恵文女子実業補習学校開校（S3 智恵文実科女学校、S10 智恵文青年学校女子部 と改称）
11. 7		名寄町処女会発足
15. 4. 1	1926	青年訓練所令により各学校に青年訓練所併置
7. 1		智恵文尋常高等小学校所属北山特別教授場開設（S4 北山尋常小学校、S16 北山国民学校、S22 北山小学校 と改称）
昭和 2. 4.26	1927	名寄町立名寄高等女学校開校（S5 北海道庁立名寄高等女学校、S22 北海道立名寄高等女学校、S23 北海道立名寄女子高等学校、S25 北海道名寄高等学校 と改称）

昭和 3. *	*	1928	名寄女子連合青年団発足
5. 6.	*	1930	智恵文女子青年団発足
6. 11.	*	1931	曙尋常小学校新築移転
8. *	*	1933	東山シャンツェ完成
10. 4.	1	1935	青年学校令により各学校に青年学校併置（実業補習学校、青年訓練所を併合）
12. 10.	16	1937	北海道庁立名寄中学校全焼
14. 9.	7	1939	名寄鈴石、名寄高師小僧、国の天然記念物に指定
15. 11.	19	1940	曙尋常小学校全焼
16. 1.	20	1941	名寄町青年団発足（男女青年団解散）
	4. 20		名寄町青少年団発足
	4. 21		北海道庁立名寄農業学校開校（S23 北海道立名寄農業高等学校、S24 北海道名寄農業高等学校と改称）
	6. 15		智恵文青少年団発足
20. 10.	1	1945	田辺服装塾、名寄衣料裁断研究会（後の名寄服飾専門学校）開校
21. 6.	12	1946	名寄洋裁学校開校
22. 3.	*	1947	名寄文化協会設立
	4. 1		名寄女子職業学校募集停止
	5. 20		名寄中学校開校{本校(名寄小学校)、分校:大橋(旧制名寄中学校)、旭東(旧制名寄高等女学校)、日彰(日彰青年会館)、瑞穂(瑞穂小学校)}
	6. 1		智恵文中学校開校（分校：旧制智南小学校）
23. 1.	10	1948	名寄町公民館設置（26年6月27日開館）
	3. 31		名寄中学校大橋分校、旭東分校廃止
	4. 1		名寄中学校北分校設置
	4. 1		名寄文化服装女学校開校
	10. 1		名寄農業高等学校定時制課程（普通科・農業科）設置
	10. 5		飯塚洋裁学院（後の飯塚ドレスメーカー女学院）開校
24. *	*	1949	加藤学園（後の名寄服飾専門学校）開校
	4. *		田辺服装塾閉鎖
	5. 13		体育指導委員会発足
	8. 15		名寄町公民館図書室開設
25. 1.	15	1950	名寄地方体育クラブ発足
	4. *		名寄女子高等学校、名寄高等学校に統合
	7. 3		名寄南小学校に養護教室設置
	7. 13		名寄小学校が道教委の学校給食モデル校として指定
	9. 13		名寄カトリック愛児園（後の名寄カトリック幼稚園）開園
	10. 1		北海道洋裁専門女学校名寄分校（後の北海道文化服飾名寄専門学校）開校
26. 1.	1	1951	中名寄中学校として独立（名寄中学校日彰分校）
	1. 25		名寄小学校御園分校設置
	4. 1		北海道名寄農業高等学校智恵文分校設置（S27 北海道智恵文高等学校、S33 北海道名寄北高等学校と改称）
	4. 1		名寄農業高等学校に酪農科増設
	4. 1		名寄中学校旭東分校復活
	4. 1		名寄中学校北分校廃止
	7. 24		名寄農業高等学校定時制農業科、季節制に改組
27. 2.	22	1952	曙小学校校舎全焼
	4. *		智恵文公民館開設
	4. 1		智南中学校として独立（智恵文中学校智南分校）
	4. 14		名寄文化服装学校開校
	8. 20		名寄東中学校として分離（名寄中学校）
	10. 1		名寄小学校東分校設置
	11. 1		教育委員会発足

昭和28.	4.	1	1953	名寄町立家政高等学校開校（S35 名寄女子短期大学附属高等学校、S53 名寄恵陵高等学校と改称）
	4.	1		瑞穂中学校として独立（名寄中学校瑞穂分校）
	4.	1		名寄農業高等学校定時制課程普通科、名寄高等学校に移設
28.	*	*	1953	名寄文化服装女学校廃校
	8.	1		名寄町民学校開校
	9.	18		名寄体育協会結成
	11.	1		道立図書館分館開館
29.	*	*	1954	名寄町体育館建設
	6.	1		移動図書館あけぼの号巡回開始
	8.	1		智恵文村と合併、新名寄町発足
	12.	1		名寄小学校内渕分校廃止、スクールバス通学開始
30.	*	*	1955	名寄南小学校グラウンドにスケートリンク開設
	4.	1		名寄高等学校に商業科設置
	4.	*		名寄小学校、視聴覚教室の研究指定校に指定
	8.	1		名寄町営球場完成
31.	4.	1	1956	名寄市市制施行（全道21番目）
32.	4.	1	1957	日進小学校開校（名寄小学校日進分校と東分校が統合）
	7.	24		智北小学校改築落成
	11.	1		名寄市学校教育指導委員会発足（委員15名）
33.	1.	19	1958	名寄市文化団体連絡協議会設立（後の名寄市文化協会）
	4.	1	1958	名寄市視聴覚教育センター発足
	4.	1		名寄東小学校開校（名寄小学校御園分校を名寄東小学校御園分校と改称）
	4.	10		光名幼稚園開園
	5.	30		名寄家政高等学校寄宿舎落成
	7.	15		名寄北高等学校校舎新築
	8.	31		第1回市民レクリエーション大会開催
	11.	*		第1回市民文化祭開催
34.	4.	1	1959	名寄西小学校開校
	4.	1		名寄小学校に知的障害児学級設置
	4.	6		大谷幼稚園開園
35.	4.	1	1960	名寄女子短期大学開学（H2 市立名寄短期大学と改称。）
36.	4.	1	1961	市立名寄図書館設置
	5.	15		名寄市体育協会設立
37.	*	*	1962	緑丘シャンツェ開設
	4.	*		名寄文化服装学校廃校
	6.	1		名寄小学校、名寄南小学校完全給食開始
	10.	1		名寄市民会館新築落成
	10.	1		青少年補導センター設置
38.	4.	1	1963	名寄高等学校に工業課程設置（電気科、機械各科1間口）
	5.	5		第1回ピヤシリ子ども会大会・少年の日制定
	10.	1		名寄西小学校肢体不自由児学級、マザーズホーム併設
	10.	1		瑞穂中学校、名寄東中学校に統合
	10.	1		名寄市青少年武道場開設
				菊山スキー場、市営となる
39.	9.	22	1964	名寄市教育研究所設立
	11.	11		名寄市勤労青少年ホーム開所
40.	*	*	1965	飯塚ドレスメーカー女学院廃校
	10.	7	1965	名寄女子短期大学図書館落成
	10.	20		名寄小学校校舎改築落成（市内で初めてのコンクリート造り）
	12.	*		名寄市学校給食センター完成

昭和41.	4. 1	1966	名寄農業高等学校に生活科設置
	4. 1		名寄高等学校商業課程廃止
	4. 1		社会科副読本「なよろ」発行
	4. 25		学校給食センター市内全小中学校に給食開始
42.	4. 1	1967	名寄高等学校に工業過程建築科増設
	4. 1		名寄農業高等学校林業科募集停止
	7. 1		新名寄市営球場竣工ならびに球場開き
	7. 15		名寄市営プール開設（現西プール）
	12. 15		青少年会館落成（43. 1. 5 開館）
43.	3. 27	1968	名寄東小学校御園分校廃止
	4. 1		智南中学校、名寄東中学校に統合
44.	3. 31	1969	名寄北高等学校廃校
45.	4. 1	1970	名寄南小学校、共和小学校、曙小学校3校統合（新名寄南小学校開校）
	4. 1		名寄南小学校共和分教室、曙分教室設置
	7. 31		名寄市プラネタリウム館完成
	8. 1		市立名寄図書館落成開館
	8. 1		市内辺地小中学校対象の巡回児童文庫開始
	12. 30		ピヤシリシャンツェ完成（70M級）
46.	3. 28	1971	第1回ピヤシリジャンプ大会（笠谷優勝 80M）
	4. 1		中名寄中学校、名寄中学校に統合
	9. *		やまゆり号による市内巡回文庫開始
47.	1. 20	1972	名寄南小学校統合新校舎
	4. 1		智東小学校、名寄南小学校に統合
	4. 1		名寄南小学校共和分教室、曙分教室廃止
	9. 6		第21回全国僻地教育研究大会第6分科会開催（於日進小学校6～8日）
48.	1. 20	1973	名寄市働く婦人の家開設
	4. 1		視聴覚ライブラリー発足（名寄市視聴覚教育センターを吸収）
	8. 14		名寄市営南プール開設（ビニール屋根付25m）
	12. 23		国設ピヤシリスキー場開設
	12. *		私設木原天文台開設
49.	1. 28	1974	名寄西小学校（現豊西小学校）に言語治療教室開設
	4. 1		豊西小学校開校
50.	2. 9	1975	第24回全国高等学校スキー選手権大会開催
	4. 1		名寄スポーツセンター落成、開館
	4. 1		名寄工業高等学校開校（名寄高等学校工業過程が分離）
51.	4. *	1976	豊西小学校言語治療教室に難聴教室併設
	6. 18		全日本軟式卓球選手権大会（18～20日）
	6. 30		智恵文簡易プール開設
52.	4. 1	1977	智西小学校、北山小学校、智恵文小学校に統合
	5. 2		キマロキ編成名寄公園に展示
53.	4. 1	1978	弥生小学校、名寄南小学校に統合。瑞穂小学校、名寄西小学校に統合
	12. 15		名寄中学校校舎移転改築完成（52・53年度2ヵ年事業）
	12. 16		名寄スポーツセンター第2体育館開館
54.	1. 21	1979	スキーを市技に指定
	2. 17		第34回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催（17日～20日ピヤシリスキー場）
	4. 1		名寄南小学校に情緒障害学級設置
	4. 1		智南小学校、名寄西小学校に統合
	7. 16		天塩川右岸、左岸、埋蔵文化財発掘調査
	10. 1		第1回スポーツフェスティバル（スポーツセンター）
	10. 31		名寄市営庭球場完成（コート6面、管理棟）

昭和54. 12. 26	1979	市立名寄図書館郷土資料室展示分室開設（旧消防署）
55. *. *	1980	名寄市社会教育推進協議会発足
2. 16		スキー市技指定、国体開催記念第1回名寄市雪の祭典(16～17日)
4. 1		名寄恵陵高等学校家政科2間口を普通科に転換
5. 13		「名寄ピヤシリ大学」開設
5. 22		「友朋学級」開設
8. 1		「フーコーの振子」開設
8. 17		土俵場完成（スポーツセンター南庭）
56. 4. 1	1981	名寄女子短期大学家政科を家政専攻課程、栄養専攻課程に分離
4. 1		豊西小学校言語治療教室、南小学校情緒障害児学級に市幼児ことばの教室併設
5. 30		名寄岩頭彰彰像除幕式
57. 3. 20	1982	名寄東中学校校舎完成
3. 21		智北小学校、智恵文小学校に統合
3. 31		名寄農業高等学校定時制閉課
4. 1		小学校通学区域の一部変更（西町3区が豊西小に）
4. 1		智恵文地区公民館が智恵文公民館に独立
4. 1		名寄職業訓練校が高等職業訓練校に昇格
7. 3		天塩川河川サッカー場オープン
12. 14		名寄工業高校校舎完成
58. 6. 1	1983	小中学校生徒指導協議会発足
6. 27		名寄高等職業訓練校校舎落成記念式典
7. 31		名寄市民文化センター完成(社会教育課、市民会館から移転)
11. 22		郷土資料室移転（大通北1、旧消防署庁舎）
59. 3. 24	1984	名寄恵陵高等学校校舎完成、移転
4. 1		日進小学校、名寄小学校に統合
4. 1		名寄女子短期大学、児童専攻課程設置
12. *		名寄農業高等学校校舎完成
60. 7. 1	1985	名寄スポーツセンターが道体協から名寄市に移管され「名寄市スポーツセンター」となる
7. 1		旧名寄恵陵高等学校体育館を一部改修し「北体育館」として一般に開放
8. 20		移動図書館車「やまゆり号」購入
61. 3. 25	1986	第64回全日本スキー大会（滑降競技大会 25～27日）
5. 31		名寄市シニアリーダーサークル（NAC）発会
7. 10		スーポロ碑建立
12. 12		智恵文中学校改築
62. 9. 26	1987	道立近代美術館所蔵秀作展（北海道を画く）（9/26～9/30）（文化センター）
10. 20		理科副読本「郷土の自然なよろ」発行
12. 5		中名寄小学校改築
平成元. 2. 19	1989	はまなす国体歩くスキー大会
6. 25		札幌グリーンコンサート
7. 28		体験王国ほっかいどう
9. 4		名寄東小学校起工式
2. 4. 1	1990	名寄女子短期大学、市立名寄短期大学に改称
4. 1		名寄農業高等学校生活科を生活科学科に学科転換
6. 9		名寄海洋センター（プール）完成
6. 28		名寄市麻生ゲートボール場完成（3面）
7. 25		第34回全道公民館大会開催
8. 25		名寄市麻生テニスコート増設完成（オムニ式2面）
11. 18		開基90周年記念 ベートーベン第9交響曲特別演奏会
11. 25		名寄東小学校校舎落成・開校33年記念協賛会記念式典
3. 2. 7～9	1991	第28回全国中学校スキー大会開催

平成 3. 8. 4	1991	土俵移設記念土俵開き（入母屋造り、銅板ぶき）
12. 24		名寄市学校給食センター改築
4. 1. 19	1992	名寄市新学校給食センター供給開始
4. 1		名寄中学校に情緒学級開設
4. 20		児童センター開館
9. 11		名寄市立木原天文台開設（市へ寄贈）
9. 12		学校週 5 日制開始
11. 19		スポーツセンター大改修完了
5. 3. 31	1993	スポーツセンター第 2 体育館増築（302.4 m ² ）
4. 1		小学校社会科副読本「なよろ」全面改定版発行
6. 30		智恵文中学校水泳プール全面改修
7. 1		図書館日曜開館
9. 30		西小学校校舎改築落成
12. 15		名寄市民文化センター開館10周年記念事業“所蔵絵画展”開催
6. 4. 1	1994	名寄短期大学看護学科（入学定員50名）開設
4. 1		名寄恵陵高校家政科が生活文化科へ学科転換
8. 5～8		山形県藤島町へ少年少女の交流団訪問
8. 6		大関「名寄岩」生誕80周年記念事業開催
11. 30		ピヤシリシャンツェ・ミディアムヒル造成工事完成
7. 3. 31	1995	菊山スキー場閉鎖
4. 1		名寄工業高等学校、機械科募集停止、電子機械科新設
11. 16		名寄市営球場改修工事完成
8. *. *	1996	北海道文化服装名寄専門学校廃校
2. 10		北国博物館開館
4. 1		名寄農業高等学校生活科学科募集停止、農業科を農業・生活科に学科転換
4. 1		教育相談電話「ハートダイヤル」開設
5. 26		なよろ健康の森陸上競技場オープン
9. 4. 1	1997	(財)名寄市体育協会に管理委託（海洋センター、南・西・智恵文プール、市営球場、テニスコート、北体育館）
5. 13		名寄市学校給食センター衛生管理推進地域指定（文部省より3ケ年）
6. 12		第36回全道博物館大会開催
8. 15		博物館大型資料収蔵庫開設
10. 26		名寄中学校開校50周年記念式典
11. 30		智恵文中学校開校50周年記念式典
10. *. *	1998	名寄服飾専門学校休校
2. 3		名寄図書館と北海道道立図書館間コンピュータオンライン化
4. 1		(財)名寄市体育協会に管理委託（スポーツセンター、ジャンプ台）
4. 11		南児童クラブ開設
6. 11		名寄南小学校に肢体不自由児学級設置
7. 1		名寄市教育振興協議会発足
10. 20		名寄小学校校舎竣工
11. 4. 1	1999	特認校制度スタート
6. 2		図書館水木夜間開館試行開始
10. 3		名寄西小学校40周年記念式典
10. 12		小学校 7 校にコンピュータ導入
12. 3. 1	2000	恵陵高校生徒募集停止
3. 24		名寄工業高等学校廃止
4. 12		名寄光陵高等学校新設
5. 16		なよろ健康の森あかげらパークゴルフ場オープン
8. 1		名寄市開拓 100年記念式典
9. 24		カトリック幼稚園設立50周年式典

平成12. 10. 1	2000	恵陵高校創立80周年記念式典及び祝賀会
10. 20		中学校 3 校コンピュータ更新
10. 27		市立名寄短大開学40周年記念構成劇「明日を拓く名寄短大」
13. 9. 1	2001	市教委でリーダーバンク設置
14. 3. 1	2002	名寄光陵高等学校電気科、建築科閉科
3. 31		名寄恵陵高等学校閉校
4. 1		完全学校週 5 日制開始
6. 8		名寄公園パークゴルフ場オープン
7. 3		北国博物館入場者10万人達成
7. 18		学校評議員制度導入（名寄小・名寄中）
9. 1		名寄東中学校50周年記念式典
9. 22		名寄小学校100周年記念式典
10. 1		ピヤシリシャンツェノーマルヒル改修
10. 19		名寄高等学校80周年記念式典
15. 2. 22	2003	第58回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催
5. 13		学校評議員制度拡大（名寄南小・名寄西小・名寄東中）
16. 3. 8	2004	図書館蔵書インターネット検索システム稼動
8. 7		中名寄小学校開校100周年記念式典
9. 1		市営テニスコート改修（オムニコート2面、グリーンサントコート4面、夜間照明2基、観覧席）
10. 24		名寄南小学校開校80周年記念式典
11. 27		智恵文小学校開校100周年記念式典
17. 2. 10	2005	豊西小学校開校30周年記念集会
17. 12. 9		北海道大学大学院理学研究院と名寄市との相互協力協定締結

3 旧風連町教育の沿革

年 代	西 暦	特 記 事 項
明治35. 3. *	1902	20線基線の今川良策が、自宅に子どもを集めて教育を始める
9. 25		下多寄簡易教育所開設 (S38 下多寄尋常小学校、S16 下多寄国民学校、S18 高等科併置、S22 下多寄小学校と改称)
36. 11. *	1903	部落民の寄付により25線東7号に教場設置
37. 1. 20	1904	フーレベツ簡易教育所開設 (同年 風連簡易教育所、M39 風連尋常小学校と改称)
41. 10. 19	1908	西風連尋常小学校設置 (T5 高等科併置、T11 風連尋常高等小学校、S16 風連国民学校、S22 風連小学校と改称)
11. 3		フーレベツ特別教授所開設 (M45 風連尋常小学校、T11 風連旭尋常小学校、S16 風連旭国民学校、S18 高等科併置、S22 風連旭小学校と改称)
11. 24		風連教育所開設 (M43 風連御料尋常小学校、T13 日進尋常小学校、S4 日進尋常高等小学校、S16 日進国民学校、S22 日進小学校と改称)
42. 7. 30	1909	西風連尋常小学校校舎新築移転
10. 23		東風連尋常小学校設置 (S16 東風連国民学校、S18 高等科併置、S22 東風連小学校と改称)
44. 7. 12	1911	下多寄尋常小学校附属西特別教授所開設 (T5 西多寄尋常小学校、S16 西多寄国民学校、S17 高等科併置、S22 西多寄小学校、S27 中学校併置に伴い西多寄小中学校、S36 西風連小中学校、S59 中学校閉校に伴い西風連小学校と改称)
8. 27		東風連尋常小学校校舎移転新築
大正11. 9. 13	1922	多寄村連合青年団結成
15. *. *	1926	青年訓練所設置
昭和 3. 11. *	1928	風連家政女学校開設
4. 11. 1	1929	下多寄尋常小学校校舎改築
6. 10. 3	1931	風連尋常高等小学校校舎改築
7. 5. 22	1932	東風連尋常小学校忠烈布特別教授所開所 (S19 忠烈布国民学校、S22 忠烈布小学校、S27 中学校併置に伴い忠烈布小中学校と改称)
7. *		裁縫教授所開所 (後の加藤学園)
8. 11. *	1933	日進尋常高等小学校校舎改築
12. 17		風連旭尋常小学校校舎改築
10. *	1935	青年学校設置
11. 9. 11	1936	西多寄尋常小学校校舎新築移転
14. 7. *	1939	青年学校義務制となる
16. 4. 1	1941	尋常小学校が国民学校に改められる (初等科6年、高等科2年)
21. 8. *	1946	風連村連合青年団設立
		岩見沢昭和洋裁女学院風連分院開設 (後の高橋洋裁女学院)
22. 4. 1	1947	国民学校が小学校に改められ高等科廃止
		風連中学校設置、風連小学校に併設
5. 1		下多寄、風連旭、東風連、西多寄、日進の各小学校に風連中学校の分校を併置
23. 10. 28	1948	風連連合婦人会設立
12. 15		風連中学校校舎新築
24. 4. 1	1949	各小学校に併置されていた風連中学校の分校が日進以外廃止
		風連村公民館設置
11. 1		東生小学校設置
25. 8. 25	1950	忠烈布小学校に風連中学校分校併設
11. 1		日進中学校設置
26. 1. 15	1951	名寄農業高等学校風連分校開校 (S28 風連高等学校と改称)
12. *		日進中学校校舎新築移転
27. 4. 1	1952	西多寄中学校設置 (西多寄小に併置)

昭和27.	4.	1	1952	忠烈布中学校設置（忠烈布小に併置）
	11.	1		風連村教育委員会設置
28.	4.	1	1953	「風連町教育是」制定
	5.	3		第1回名寄～風連間憲法発布記念マラソン大会（風連→名寄）
29.	5.	10	1954	風連幼稚園開設
30.	11.	26	1955	西多寄小中学校全焼
	*			風連町父母と先生の会連合会設立
31.	10.	2		西多寄小中学校新築
	*			風連町児童生徒校外補導協議会設立
34.	10.		1959	第1回健民大運動会
	11.	12		下多寄小学校新築落成
37.	1.	24	1962	風連町若妻会設立
	9.	*		忠烈布小学校開校30周年・同中学校開校10周年記念武典
39.	3.	31	1964	忠烈布小中学校閉校（小学校は東風連小学校、中学校は風連中学校に統合）
				風連高等学校道立移管
	4.	11		風連中学校全焼
	5.	29		風連町中核農民学校開校
	10.	3		風連中学校校舎落成式
40.	4.	*	1965	風連町連合青年会設立
	7.	*		町営プール完成
	*			婦人学級・家庭教育学級開設
41.	1.	31	1966	風連町体育協会設立
42.	2.	*	1967	町内初のスケートリンク造成
	6.	*		消防本部2階を公民館図書室として開設
43.	12.	*	1968	風連町営スキー場開設
45.	3.	*	1970	近藤育英基本条例制定
	7.	*		日進小学校に簡易プール完成
45.	11.	*	1970	町営ヒュッテ建設
46.	3.	31	1971	東生小学校閉校（日進小学校に統合）
	4.	1		風連中央小学校設置（風連小学校と風連旭小学校が統合）
	7.	*		風連町スポーツ少年団本部設立
				風連町子ども会育成連絡協議会設立
	12.	*		風連町新生活運動推進委員会設立
47.	6.	30	1972	風連町公民館講座「風連町老人大学」開講（S53 瑞生大学と改称）
	7.	*		町内7カ所史跡標示板を設置
	9.	*		全国へき地教育研究大会開催
	9.	12		風連旭小学校及び風連中央小学校風連旭分教室閉校式
	12.	7		風連小学校閉校式
	12.	14		風連中央小学校校舎新築落成
48.	1.	20	1973	風連中央小学校開校式
	7.	*		初の屋根付き町営プール完成
	9.	2		学校給食センター完成
	10.	1		町内小中学校の学校給食スタート
	10.	30		東風連小学校校舎完成
49.	4.	1	1974	米飯給食の開始（完全給食）
50.	5.	*	1975	旭公民館に「愛の鐘」設置
	10.	*		風連町青少年研修センター及び風連町児童会館完成
52.	5.	*	1977	風連町婦人団体連絡協議会設立
	11.	8		日進小中学校校舎改築落成
53.	2.	*	1978	風連町連合婦人会結成30周年記念式典
				第1回北部北海道ジュニアスピードスケート大会

昭和53.	＊	＊	1978	日進小学校と日進中学校が併置校となる
	5.	＊		教育委員会にマイクロバス導入
54.	7.	＊	1979	町営球場完成
		＊		風連町陶芸センター完成
	9.	＊		ノンプロ招待野球大会（開基80周年記念行事）
55.	10.	＊	1980	風連の未来を築く会設立
				旧役場庁舎を武道場として改修
56.	9.	＊		西風連小学校開校70周年及び中学校開校30周年記念式典
	12.	＊		風連中央小学校グラウンドに333.3mの公認スケートリンク造成
				町営スキー場に20m級ジャンプ台新設
57.	8.	＊	1982	第1回町民運動会
	10.	＊		風連町生徒指導連絡協議会設立（平成4年に生徒指導推進協議会に改称）
59.	3.	31	1984	西風連中学校閉校（風連中学校に統合）
	10.	＊		風連町連合青年会創立20周年記念式典
60.	11.	＊	1985	町営第2球場完成
61.	4.	＊	1986	風連町日進剣道スポーツ少年団設立
62.	6.	＊	1987	風連町新生活運動推進会議設立
	9.	2		風連中学校に教育用コンピュータ導入（47台）
	10.	＊		東地区ゲートボール場完成
	11.	7		風連高等学校校舎改築落成記念式典
	12.	＊		風連町就学指導委員会設立
63.	5.	＊	1988	東地区運動広場にテニスコートオープン
	6.	＊		風連町教育委員会で42人乗り中型バス導入
	8.	＊		初の外国人英語指導助手を招致
平成元.	5.	＊	1989	B & G 風連海洋クラブ設立
	6.	＊		B & G 財団風連海洋センター竣工式（7月からオープン）
2.	2.	＊	1990	B & G 財団風連海洋センタープール完成
	4.	＊		風連町歴史民俗資料館開館
	6.	＊		風連高等学校教育振興協議会設立
	8.	＊		風連町・東京都港区中学生の初の自然体験交流会
	10.	＊		風連中央小学校開校20周年記念を祝う集い
3.	8.	24	1991	西風連小学校開校80周年記念式典
	9.	＊		風連高等学校が4年度公立高校適正化配置計画（原案）で条件付き学級減対象校となる
	12.	＊		初の杉並区・風連町子ども交流会
4.	1.	＊	1992	風連町若妻会創立30周年記念式典
	2.	27		「風連町瑞生大学校歌」制定
	6.	＊		B & G 財団風連海洋センターが同財団から町に譲渡
	10.	＊		風連町スポーツ少年団本部設立20周年記念式典
				日独青少年指導者セミナー（ドイツから11人来町）
5.	2.	10	1993	下多寄小学校校舎完成
				下多寄小学校コミュニティスクール開設
	5.	1		小学校社会科副読本「ふうれん」全面改訂版発行
	6.	27		下多寄小学校校舎改築落成並びに開校90周年記念式典
6.	2.	＊	1994	東京都港区交流の「風港会」設立
				風連町サンシャインホール完成
				カンガルーのポケット事業の実施
	7.	＊		日進小中学校に屋根付プール完成
				風の顔らんどふうれん北海道運営委員会設立
	12.	5		風連幼稚園新園舎完成
7.	3.	31	1995	西風連小学校閉校（下多寄小学校に統合）

平成 7. 9. *	1995	旧旭小学校記念碑建立除幕式
8. 4. *	1996	風連町青年会設立
8. *		風連高等学校1年生が初の海外研修（オーストラリア）
		風連町教育委員会に新型バス導入
8.10. *	1996	風連町体育協会創立30周年記念式典
9. 9.20	1997	風連中学校開校50周年記念式典
10. 4. 1	1998	風連高等学校が道内初の英語標記の教育目標「EMOTION&POWER（感動と力）」施行
4. 1		風連町児童クラブの設置
4.22		杉並区より移動図書館車「たびびと君」を寄贈
11. *. *	1999	教育用コンピュータ導入（風連中央小学校）
5. 1		公民館そよかぜ事業の実施
9. *		東風連小学校開校90周年記念式典
12. *		「風連町の石碑と史跡」発行
12. 4. 1	2000	小学校英会話活動推進モデル事業の実施
7. 1		学校評議員制度導入（風連中央小学校・風連中学校）
10.27		福祉センター増築（研修室）
13. *. *	2001	東地区運動広場パークゴルフ場オープン
3. 7		風連町瑞生大学創立30周年記念式典
5.16		心の教室相談員の配置（風連中学校）
5.30		スポーツエキスパート事業の実施（風連中学校）2年間
6.24		下多寄小学校開校100周年記念式典
9. 8		風連高等学校創立50周年記念式典
14. *. *	2002	教育用コンピュータ導入（日進中学校）
3.31		小学校社会科副読本「ふうれん」全面改訂版発行
4. 1		教育相談員の配置
4. 1		文部科学省学力向上フロンティア事業指定校（風連中学校）
5. 2		民間指導者派遣事業の実施
9. 1		風連町地域教育推進協議会の設置
9. 1		風連町体験活動ボランティア活動支援センターの設置
9. 1		ふうれんっ子ひろばの実施
11. 8		小学校道徳非常勤講師配置事業の実施
15. *. *	2003	教育用コンピュータ導入（下多寄小学校・東風連小学校）
4. 1		ブックスタート事業の実施
4.26		風連スポーツクラブ「ポポ」の設立
5. 1		文化部活動外部指導者派遣事業の実施（風連中学校吹奏楽部）2年間
10.25		風連幼稚園設立50周年記念式典
16. 3. *	2004	「ふうれんちょうのはし」発行
17. *. *	2005	教育用コンピュータ導入（日進小学校）
4. 1		風連町子ども教室の実施
5.24		教育相談支援事業の実施（風連中学校）

4 名寄市教育の沿革

年 代	西 暦	特 記 事 項
平成18. 3. 27	2006	風連町と名寄市が合併し新名寄市誕生
4. 1		体育施設の指定管理者制度導入
4. 7		名寄市立大学開学
11. 11		「北海道立サンピラーパーク」開園 カーリング場オープン（日進、5シート）
12. 1		図書館電算システム運用開始
19. 3. 1	2007	名寄光凌高等学校普通科閉科
3. 31		西プール閉鎖
4. 1		給食センター統合
4. 24		全国学力・学習状況調査実施
5. 19		市営南水泳プール改築・オープン
8. 7		移動図書館「やまゆり号」更新
8. 18		日進小学校開校100周年・中学校開校60周年記念式典
20. 3. *	2008	風連高等学校募集停止
4. *		学校職員評価制度導入
4. 1		学校栄養教諭配置（名寄小、風連中央小）
6. 24		名寄市小学校陸上大会閉幕
6. *		北海道体力・運動能力調査実施
21. 3. 24	2009	名寄光凌高等学校閉校
3. *		名寄農業高等学校募集停止
4. 9		名寄産業高等学校開校
7. 4		名寄西小学校開校50周年記念「ふれあい」の集い
7. 23		「九度山 クトゥンヌプリ」国・名勝指定
8. 23		東風連小学校開校100周年記念式典・祝賀会
9. 23		名寄大谷幼稚園創立50周年記念祝賀会
10. 4		名寄西小学校開校50周年式典
10. 27		名寄ピヤシリ大学開学30周年記念式典
11. 29		名寄市立木原天文台閉館・名寄市プラネタリウム館閉館
22. 3. 31	2010	風連高等学校閉校
4. 12		ふうれん地域交流センター「風っ子ホール」オープン
4. 17		なよろ市立天文台「きたすばる」オープン
10. 21		キマロキ編成「JR北海道準鉄道記念物」指定
11. 3		名寄市立大学創立4周年・短期大学部創立50周年記念式典
12. 16		風連中学校「校舎移転開校式」
12. 18		名寄農業高校閉校記念式典
23. 1. 11	2011	名寄東小学校屋内運動場改築
4. 29		なよろ市立天文台「きたすばる」グランドオープン
7. 3		風連下多寄小学校開校110周年記念式典・祝賀会
9. 5		名寄市放課後子ども教室（試行）開設
24. 2. 1～4	2012	第49回全国中学校スキー大会開催
5. 9		名寄市放課後子ども教室開設
5. 18		名寄市教育改善プロジェクト委員会発足
5. 22		名寄東中学校開校60周年記念親睦の集い
25. 2. 24	2013	日進スケートリンク終了
3. 2		名寄市立風連日進小中学校閉校式・惜別会
3. 31		名寄市立風連日進小中学校閉校
4. 1		ふうれん地域交流センター「風っ子ホール」指定管理者制度導入

題字

名寄市教育長 小野 浩一

平成 25 年度版

「教育なよろ」

平成 25 年 7 月発行

編集・発行 名寄市教育委員会
